

保存版



ハザードマップ

洪水

宮崎市



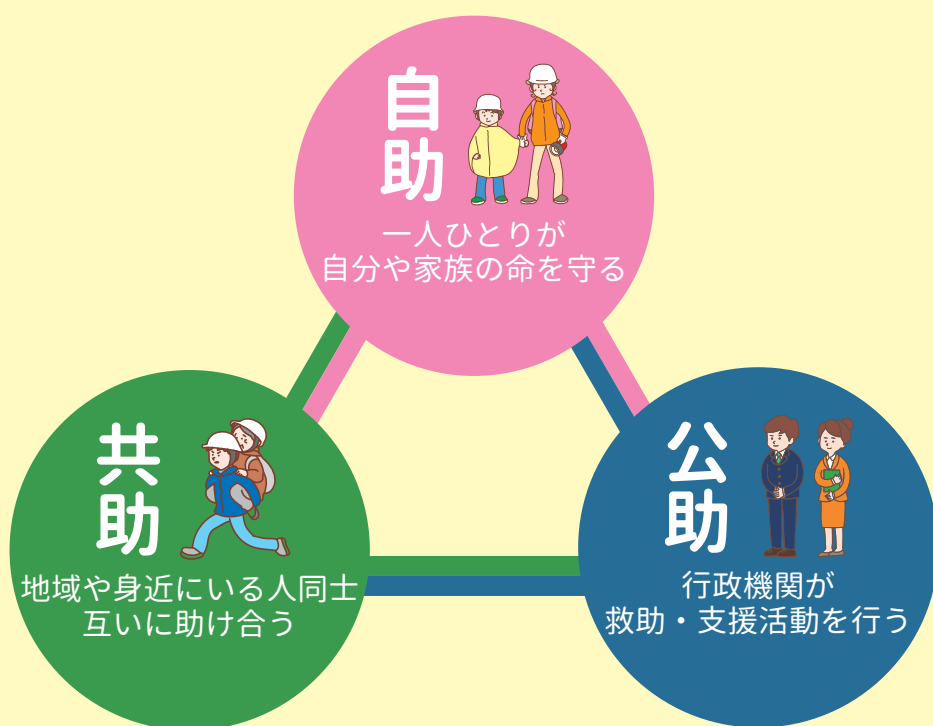
田野町域

宮崎市からの重要なお知らせです。

近年、大雨や台風による風水害や土砂災害が増加しています。宮崎市では、**想定しうる最大規模の降雨情報を盛り込んだ「洪水ハザードマップ」**を作成しました。
このハザードマップはいつも見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。

宮崎市ではハードとソフトの両面から事業を展開し「**安心安全なまちづくり**」に取り組んでいます。今後も適切な情報発信に努めてまいりますので、市民の皆様もご家庭や職場で防災について話し合い「**自らの命は自らで守る**」という趣旨をご理解いただき、地域における防災対策にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

自らの命は 自らで守る



索引

市民の皆様へ	巻頭	避難時に気をつけること	9
ハザードマップの使い方と避難行動の判定フロー	1	マイ・タイムラインを作ってみよう	10～11
避難情報等の発令について	2	アンダーパスの危険性について	12
非常時持ち出し品の準備	3	マンホールトイレシステム	13
風水害・台風	4	自主防災組織	14
土砂災害	5	指定避難所等一覧	15
災害時の気象情報等の収集	6	MAPの見かたと地域全体図	16～17
防災に関する知識・緊急連絡	7	MAP1-12	18～41
要配慮者の安全対策	8	わが家の防災・緊急情報メモ	裏表紙

ハザードマップの使い方

- ① 地域全体図から、自宅や自宅周辺など、調べたい場所のマップを開きます。
- ② 調べたい場所が災害の区域内（着色されている）か確認し、災害の種類と危険度を把握してください。
- ③ 災害の危険性がある場合、避難する場所を検討してください。（指定避難所、実家など）
- ④ 避難するための方法を検討してください。（徒歩、車、タクシーなど）
- ⑤ 避難する経路を検討して、地図に書き込みましょう。
- ⑥ 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。
危険な場所がある場合は避難経路を見直しましょう。
- ⑦ 台風豪雨時に備え「避難行動判定フロー」を確認しましょう。



避難行動判定フロー

必ず取組みましょう！

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難して下さい。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
②浸水する深さよりも高いところにいる。
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。
このような場所にお住いの場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3が出たら、開設している指定避難所に避難しましょう。

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4が出たら、開設している指定避難所に避難しましょう。

指定避難所について

災害の規模に応じて、市が開設する指定避難所を決定するため、全ての指定避難所が一斉に開設されるわけではありません。開設される指定避難所の情報はテレビ（データ放送）、宮崎市防災メール、Yahoo! 防災速報アプリなどでお知らせします。

避難情報等の発令について



気象情報、避難情報などの伝達の流れ



※ 災害に関する注意報や警報が発表されたら、市からの情報に注意して下さい。

→ : 気象情報、災害予報の流れ

→ : 避難情報 (避難指示・避難勧告・避難準備) の流れ

警戒レベル及び避難情報について

警戒レベル	【避難情報等】 行動を促す情報	【発令時の状況】	【避難行動】 住民が取るべき行動
宮崎市が発令	5 災害発生情報	<ul style="list-style-type: none"> 既に災害が発生している状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命を守るための最善の行動をとる。
	4 避難指示 (緊急)	<ul style="list-style-type: none"> 災害の前兆現象の発生や切迫した状況から、人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況、または実際に人的被害が発生した状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から速やかに避難先へ避難する。 避難に時間的な余裕がない場合、山の斜面の反対側、家の2階、近所の安全な場所に避難するなど、生命を守る行動をとる。
	3 避難準備・ 高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> 指定区域の危険な場所にいる人が避難を始めなければならない。 人的被害が発生する可能性がさらに高まっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から開設されている指定避難所等へ速やかに移動を開始する。
気象庁が発表	2 洪水注意報 大雨注意報	<ul style="list-style-type: none"> 災害の危険が迫っていると自ら判断した場合、「自主避難」しましょう。 指定避難所等へ避難する場合は、最寄りの総合支所、地域センター、地域事務所へ連絡し、自主避難先を確認した上で避難して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難に備え、自らの避難行動を確認する。
	1 早期注意情報		<ul style="list-style-type: none"> 災害への心構えを高める。

非常時持ち出し品の準備



災害発生時には、水や電気などのライフラインがストップし、長期間必要な物資が手に入らない場合もあります。家庭状況によって必需品は変わってきますので、各家庭で**最低3日分、可能な限り1週間分以上の備蓄を準備**するよう心がけましょう。備蓄は、「非常時持ち出し品」と「備蓄品」の2種類に分けて準備しましょう。

※非常時持ち出し品：災害発生直後の避難時、緊急的に自宅から持ち出すもの（1日分程度）。

※下記一覧を参考に、必要なものをリュックサックなどに入れて、玄関付近に置いておきましょう。

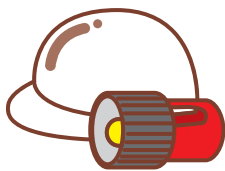
非常時持ち出し品(例)

- 貴重品 -



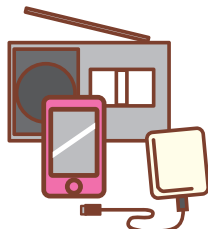
- 現金 運転免許証
- 健康保険証 印鑑
- 自宅や車のスペアキー

- 避難用品 -



- 懐中電灯 ヘルメット
- ハザードマップ

- 情報収集手段 -



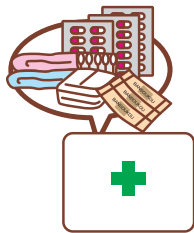
- 携帯電話 携帯ラジオ
- 筆記用具 乾電池
- 充電器・バッテリー

- 食料品等 -



- 飲料水（500ml3本以上）
- 非常食（乾パン等）

- 緊急医療品 -



- 持病薬 お薬手帳
- 包帯や傷薬 絆創膏
- ウェットティッシュ

- 感染症対策用品 -



- マスク 体温計
- 消毒液 スリッパ

- 生活用品 -



- 毛布 大型ハンカチ
- 衣類 タオル 雨具
- カイロ ライター

- 個別用品 -



- 生理用品 化粧品
- 母子手帳 離乳食
- 眼鏡 入歯 おむつ

ローリングストック法



ローリングストック法とは、普段消費している食料品や日用品を、少し多めに購入しておき日常生活の中で使い切った分を買い足していく方法です。食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として使えます。

備蓄品(例)

- 衣類品 -

- 下着・上着 毛布
- 手ぬぐい
- タオル

- 食料品 -

- お茶やアルファ化米
- レトルト食品・缶詰
- カップ麺

- 飲料水 -

- 飲料水（1日1人3L）
- 生活用水（日頃から水を溜める）

- 燃料 -

- カセットコンロ
- 予備のボンベ
- 固形燃料

- その他 -

- 皿・コップ・箸 缶きり ラップフィルム
- 新聞紙や段ボール ガムテープ ゴミ袋 石鹸
- テント・タープ 寝袋 ランタン ろうそく

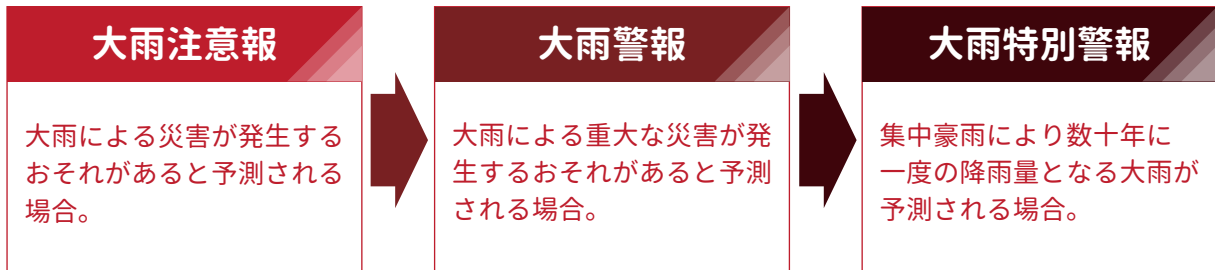


大雨や台風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
普段から気象情報に十分注意しましょう。



大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策

大雨注意報・警報・特別警報の発表基準



特別警報は大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。



特別警報が発令されたら

- ・尋常ではない大雨や暴風が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・直ちに命を守るため、最善を尽くしてください。

避難勧告等に従い直ちに安全な場所に避難！外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動

「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守ることができる行動を考えておきましょう。

雨の強さと降り方

(1時間雨量：mm)

10 mm以上～20 mm未満	20 mm以上～30 mm未満	30 mm以上～50 mm未満	50 mm以上～80 mm未満	80 mm以上～
ザーザーと降る雨の音で話声がよく聞き取れない。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。車の運転は危険。

風の強さと吹き方

(平均風速：m/秒)

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動はきわめて危険。走行中のトラックが横転する。

台風

(平均風速：m/秒)

大きさ	風速 15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型 (大きい)	500 km以上～800 km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
		非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
超大型 (非常に大きい)	800 km以上	猛烈な	54m/秒以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は難しく、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ▶ ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ▶ 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ▶ 非常時持ち出し品を準備しておく。
- ▶ 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備する。
- ▶ 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ▶ 浸水に備え、家財道具は高い場所へ移動する。



- 記録的短時間大雨情報 -

県内で数年に一度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨を観測又は解析したときに、府県気象情報の一環として発表されます。

(発表基準：宮崎県は 120 mm / 1時間雨量)

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみ込んだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

土砂災害警戒情報とは

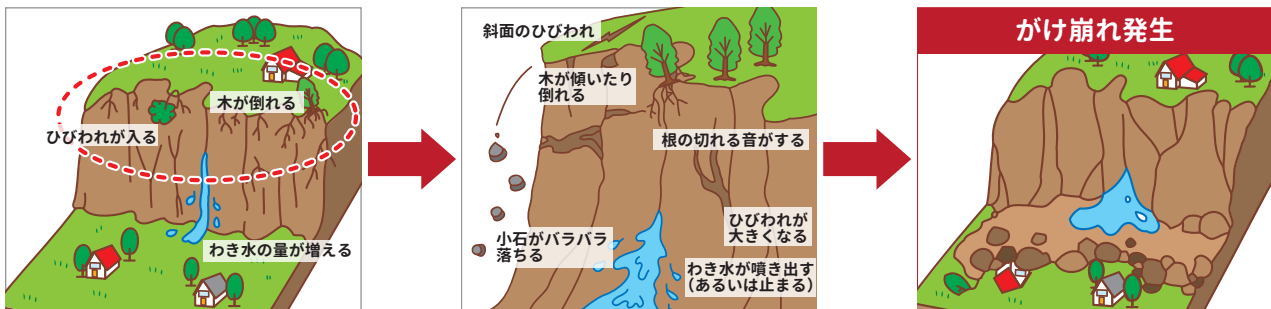
「土砂災害警戒情報」は、大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼び掛ける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表。
※ 国全体の防災基本方針を示す防災基本計画では「土砂災害警戒情報が発表された場合に直ちに避難勧告（警戒レベル4）等を発令すること」が基本。

土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

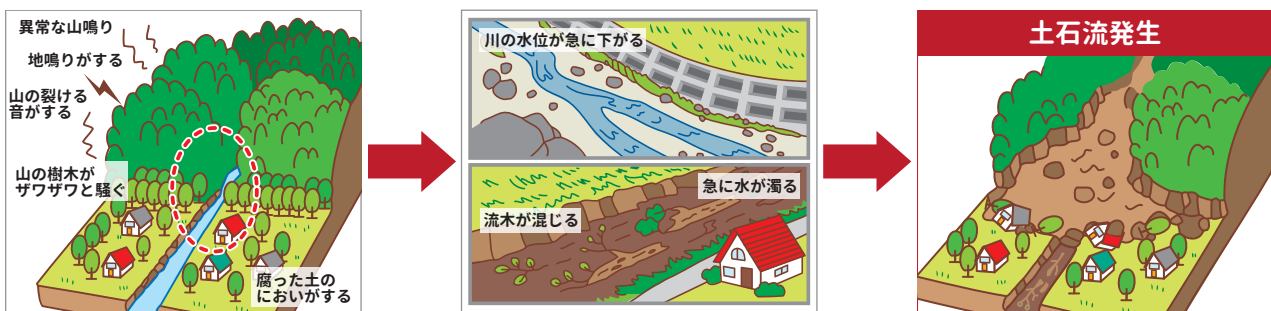
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



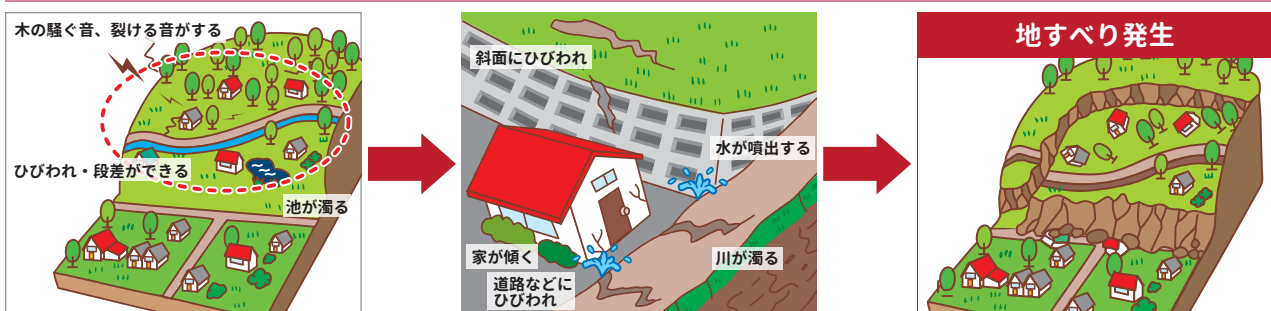
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。





地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、莫大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。






宮崎市防災メール

<p>1</p>  <p>miyazakicity@jijo.bosai.info に空メールを送信。</p>	<p>2</p> <p>登録用メールが届いたら URL をクリックして登録サイトに接続。</p> <p>※迷惑メール設定がされていると登録メールが届かない場合があります。</p>	<p>3</p>  <p>受信を希望する情報を選択し、「設定送信」ボタンを押す。</p>	<p>4</p> <p>「登録を完了しました」と表示されれば登録完了です。</p> <p>※登録完了メールは届きません。問題なく登録されていれば、毎週金曜日 16 時頃、週間天気予報が届きます。</p> 
---	--	---	--

デジタルテレビのデータ放送

- ① チャンネルを NHK 総合に合わせて、d ボタンを押す。
- ② 「防災・生活情報」を選択して、決定ボタンを押す。
- ③ 知りたい情報を選択して、決定ボタンを押す。



<p>河川水位観測情報</p> 	<p>宮崎県 土砂災害危険度情報</p> 	<p>気象庁 宮崎地方気象台</p> 	<p>大雨警報（土砂）の 危険度分布</p> 
---	--	---	--

概要

宮崎サンシャイン FM (76.1Mhz) と連携し、災害発生時に、同報系防災行政無線屋外スピーカーから流れる放送と同じ内容をラジオ放送に緊急割り込みして放送する。

特徴

- ・ 緊急放送時には自動起動
- ・ 停電時には自動でライトが点灯
- ・ 緊急放送時の録音機能付
- ・ ボタンのみの簡単操作



宮崎市
防災ラジオ



宮崎市防災
ポータルサイト

<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/bousai/>



<p>災害時に役立つ防災アプリ</p>	<p>全国避難所ガイド</p> <p>避難所や避難場所等を検索できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>  <p>App Store からダウンロード</p>  </div> <div>  <p>Google Play で手に入れよう</p>  </div> </div>	<p>宮崎サンシャイン FM</p> <p>ダウンロード後、宮崎サンシャイン FM に設定すると利用可能になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>  <p>App Store からダウンロード</p>  </div> <div>  <p>Google Play で手に入れよう</p>  </div> </div>
	<p>Yahoo! 防災速報</p> <p>避難情報や河川洪水など 12 種類の災害情報を受信することができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>  <p>App Store からダウンロード</p>  </div> <div>  <p>Google Play で手に入れよう</p>  </div> </div>	<p>Safety tips</p> <p>官公庁が外国人旅行者向けに提供しているアプリです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>  <p>App Store からダウンロード</p>  </div> <div>  <p>Google Play で手に入れよう</p>  </div> </div>



消防・救急は 119 番 警察は 110 番



名称		電話番号
九州電力送配電 宮崎配電事業所		0120-986-962
九州電力送配電 高鍋配電事業所		0120-986-961
宮崎ガス		0985-39-3911
NTT 西日本	固定電話	局番無 113
	ひかり電話・携帯電話	0120-444-113
宮崎市上下水道局		0985-24-1212

日常の心得

災害はいつ発生するかわかりません。日ごろからの備えが大切です。気象情報についても、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどを通じて把握するように努めましょう。

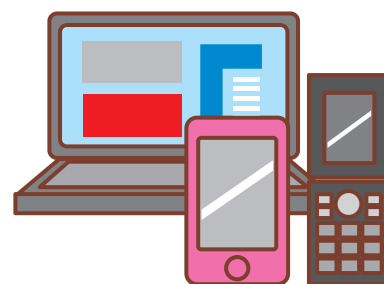
災害用伝言ダイヤル

NTT では、災害発生時に被災地への通話が繋がりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171-1-●●●●●●(●●●●●●) <small>被災地の方の電話番号</small>	伝言保存期間	録音してから 48 時間
伝言の再生	171-2-●●●●●●(●●●●●●) <small>被災地の方の電話番号</small>	伝言蓄積数	1 電話番号あたり 10 伝言まで
伝言内容 (時間)	1 伝言あたり 30 秒以内	利用可能電話	一般電話 (プッシュ回線、ダイヤル回線)、 公衆電話、携帯電話 (一部除く) 等

連絡方法の確認

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。
なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。



社団法人電気通信事業者協会
(災害時の電話の利用方法)



NTT 西日本
(災害用伝言ダイヤル 171)



NTT ドコモ
(災害用伝言板サービス)



au
(災害用伝言板サービス)



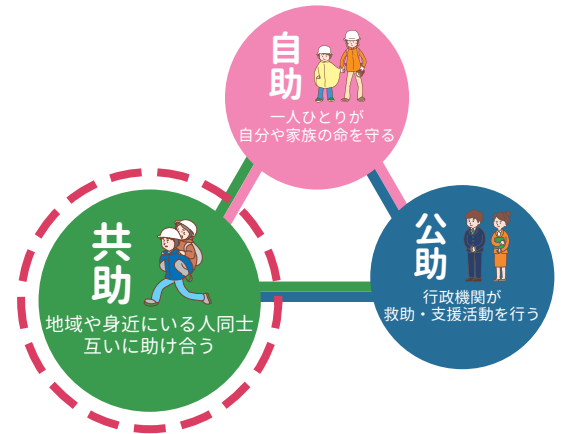
SoftBank
(災害用伝言板サービス)



要配慮者を災害から守るためには、地域のみなさんのご協力が必要です。
助け合いの心で守ってください。

要配慮者とは

高齢者や障がい者、傷病者、乳幼児、外国人など、災害発生時に特に配慮が必要な人を要配慮者と言います。要配慮者を災害から守るために地域で協力し合いながら、その人の状態や状況に応じた配慮や支援が行えるように日ごろから備えておきましょう。



要配慮者の安全な避難誘導の例

高齢者や寝たきりの方

あらかじめ要配慮者を把握しておきましょう。
できるだけ複数人で対応できるようにしましょう。

車いすや担架を使うほか、緊急時には背負って避難しましょう。



病気やけがをしている方

状況に応じて、声をかける、肩を貸す、手をそえるなどの協力をしましょう。



目の不自由な方

「お手伝いしましょうか」とまず声をかけましょう。

誘導するときは、腕を貸してゆっくりと歩きましょう。



耳の不自由な方

正面から口を大きく動かして話しかけるようにしましょう。

口頭で伝わりにくい時は、身ぶり手ぶりや筆談で正確な情報を伝えましょう。



車いすを利用している方

階段では2人以上で援助し、上りは前向き、下りは後ろ向きで移動しましょう。

要配慮者が1人の場合は背負って避難しましょう。



日本語が十分でない外国人の方

孤立させないように、日本語でもいいので声をかけるようにしましょう。

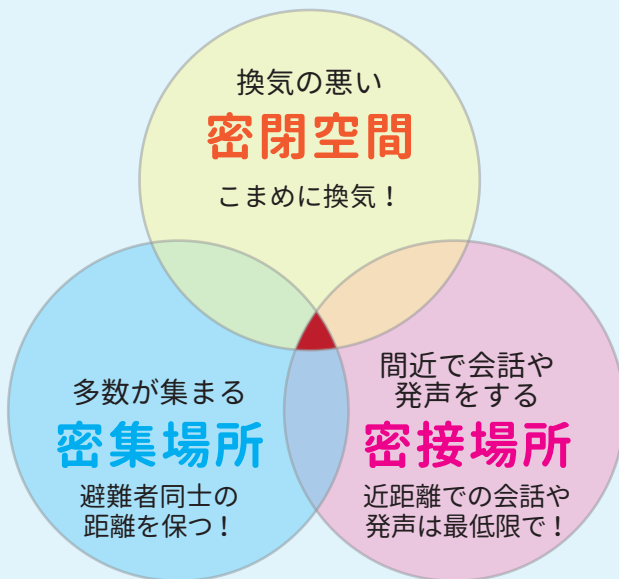
言葉が通じない場合は、身ぶり手ぶりで伝え、道順などは手で方向を示してあげましょう。



避難所での「新型コロナウイルス」等の感染予防対策へのご協力をお願いします。

- ① マスク、消毒、体温計など感染症対策に必要なものはできるだけ持参しましょう。
- ② 避難所ではマスクを着用し、マスクがない場合は咳・くしゃみの際にハンカチや袖などで口・鼻を覆いましょう。
- ③ トイレや食事の前など、こまめにうがいや手洗いを行いましょう。
- ④ 避難所での「密」を避けるために、安全な親戚・友人宅に避難することも考えましょう。

3つの密を避けましょう！



3つの条件が揃う場所はクラスター発生リスクが高い！

避難所の混雑状況のチェック！

MAP 型混雑検知システム

「VACAN」サイト

にアクセスすることで、避難所の混雑状況をリアルタイムで確認できます。



避難所でのマナー

- ▶ 水道が使えない場合は飲み水や生活水の確保がとても重要です。水を大切に使いましょう。
- ▶ 高齢者や体の不自由な方など、要配慮者への気配りを心がけましょう。
- ▶ 最初の数日間分の食料品は持ち込みです。



- ▶ 避難所及びトイレの掃除はみんなで定期的に行い、清潔に保ちましょう。
 - ▶ 物資が支給される場合は、列に並び、自分の順番を待ちましょう。
 - ▶ 避難所は、原則、禁煙です。施設管理者が許可した場合のみ所定の場所で喫煙しましょう。
- ※原則、室内へのペットの持ち込みは禁止されています。

避難所での注意点

- ▶ トラブル防止のため、所持品に名前を書きましょう。
- ▶ 熱中症対策として、水分をこまめに取り、適量の塩分もとりましょう。
- ▶ エコノミー症候群対策として、座ったままでも足や指先を動かすなどの運動を行いましょう。
- ▶ 食中毒予防のためペットボトルの使いまわしに注意しましょう



マイ・タイムラインとは

災害発生が見込まれる場合に、自分や家族の取るべき行動について、「いつ・だれが・何をするのか」を整理した個人の防災行動計画のことです。

マイ・タイムラインを作成する前の事前確認

check 1 自分の住んでいる地域に起こりうる災害を確認しましょう。本ハザードマップには、「洪水」及び「土砂」の区域を掲載しています。なお、「土砂」の区域は、随時更新されますので、最新の情報は宮崎市のホームページをご覧ください。

防災ポータルサイト



check 2 避難所及び避難経路を決めましょう。check1 で確認した内容を基に避難所情報を参考にしながら、予想される災害から避難するための避難所を決定し、安全に避難所へ避難するための避難経路を地図上にマークしましょう。

check 3 情報収集手段を確認しましょう。P6を参考に、自分たちでできる情報収集手段を確認しましょう。



事前確認まとめ	自宅周辺の災害状況	<input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 土砂災害
	避難所	避難所名 ()
	情報収集手段	<input type="checkbox"/> 宮崎市防災メール <input type="checkbox"/> テレビのデータ放送 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 防災無線 <input type="checkbox"/> 防災アプリ【 <input type="checkbox"/> 全国避難所ガイド <input type="checkbox"/> Yahoo!防災速報 <input type="checkbox"/> サンシャインFM <input type="checkbox"/> Safety tips】 <input type="checkbox"/> ホームページ【 <input type="checkbox"/> 宮崎市 <input type="checkbox"/> 宮崎県（河川水位、土砂災害） <input type="checkbox"/> 気象庁】 その他 ()

マイ・タイムラインの作り方

※次の手順に沿って、P11 に必要事項を記載してください。

1. 「避難する場所」を記載しましょう。
2. 「避難準備」「避難開始」「避難完了」のタイミングを決定し、記載しましょう。
 ※ 高齢者など避難に時間を要する方は、警戒レベル3の時点で避難しましょう。
 その他の方は、警戒レベル3の段階で「避難準備」を始め、遅くとも警戒レベル4の段階で避難しましょう。
 警戒レベル5は既に重大な災害が発生している状態です。
3. 避難を開始するまでに行うべき行動（情報収集や持ち出し品の準備など）をいつ行うか検討し、記載しましょう。
4. 地域に対しての行動を考え、地域の人々の助け合いについても記載しましょう。
5. 台風以外に、大雨が長引く場合や短時間の急激な豪雨も想定してタイムラインを作成しましょう。



マイ・タイムラインを作ってみよう2



警戒レベル・気象情報・避難情報を確認しましょう

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報		自主避難など 注意の呼びかけ	避難準備 高齢者等避難開始	避難勧告 避難指示（緊急）	災害発生情報
大雨 に関する 気象情報	早期 注意報	大雨・洪水 注意報	大雨・洪水警報 <small>(大雨や洪水となる3～2時間前程度)</small>		
風 に関する 気象情報		強風注意報		暴風警報 <small>(暴風となる6～3時間前程度)</small>	
<p>お住まいの地域・環境によって必要となる情報は異なります。 個々に応じた情報を取り入れ、左1列目に印を入れましょう。 ◎：特に必要な情報 ○：必要な情報</p>					
河川の氾濫 に関する 気象情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報 <small>(数時間～1時間前程度)</small>	
		<small>※氾濫情報が発表されない河川では洪水警報・大雨警報(浸水害)の危険度分布を見ながら危険度を確認</small>			
土砂災害 に関する 気象情報			土砂災害警戒情報 <small>(土砂災害の危険度が高まる最大2時間前程度)</small>		
		<small>※大雨警報(土砂災害)の危険度分布なども見ながら危険度を確認</small>			

※警戒レベルや防災気象情報は必ずしもこの順番通りとは限らず突発的なものです。

※警戒レベル5は既に重大な災害が発生している状況です。避難が完了していない場合は命を守る行動をとりましょう。

避難に向けてとるべき行動「誰が」「いつ」「何を」
行動するか書いてみましょう

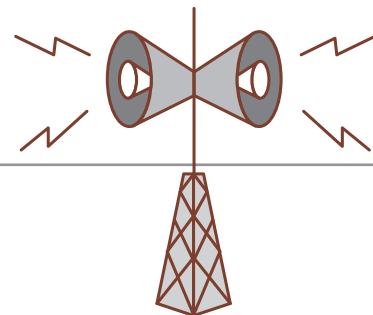
記入例

警戒レベル2＝避難準備開始、親族へ連絡
警戒レベル3＝おじいちゃん・おばあちゃん避難
警戒レベル4＝家族全員避難

警戒レベル	1	2	3	4	5
私と家族が とる行動					
地域で とる行動					

避難する場所

大雨時は道路アンダーパス部の冠水に注意!!

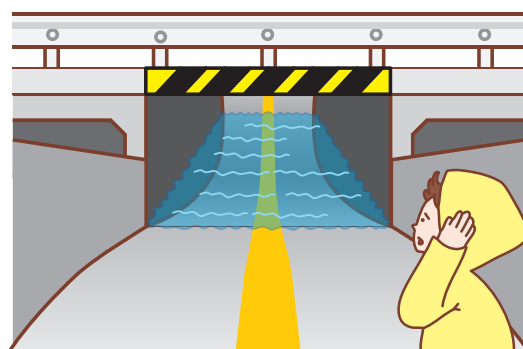
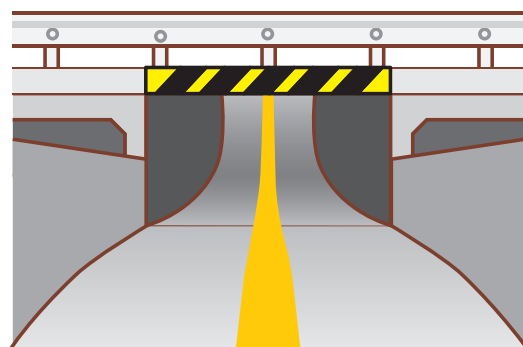


道路アンダーパス部の冠水とは

道路アンダーパス部とは、交差する鉄道や他の道路の下を通過するため、周辺の地盤より低くなっている道路区間のことをいい、地形的に雨水が集中しやすい構造となっています。

通常の降雨時には、排水溝などで集まった雨水を外部に排出しています。

しかし、近年、全国各地で多発する局地的豪雨（ゲリラ豪雨）など予想を上回る大雨に際しては、排水溝などでは排水しきれず、アンダーパス部が冠水してしまい、そこへ車両が侵入してしまうと、水没するなど重大な事故につながります。



ドライバーの皆様へおねがい



道路アンダーパス部が冠水している場合は、不用意に侵入せず、迂回するなどの危険回避を優先するようお願いします。

万が一、冠水に侵入して車が動かなくなってしまった場合は下記を参考に行動してください。

- 車の窓を開けるか、窓を割って脱出する。
- 水圧でドアが開かない時には、ある程度水が車内に入るのを待ってから、足で押し開ける。
- 車外に脱出できない場合には、至急警察や消防署、道路管理者へ救助要請を連絡する。

お問合せ

宮崎市建設部道路維持課

☎ 0985-21-1802

☎ 0985-21-1575

✉ 25douro@city.miyazaki.miyazaki.jp

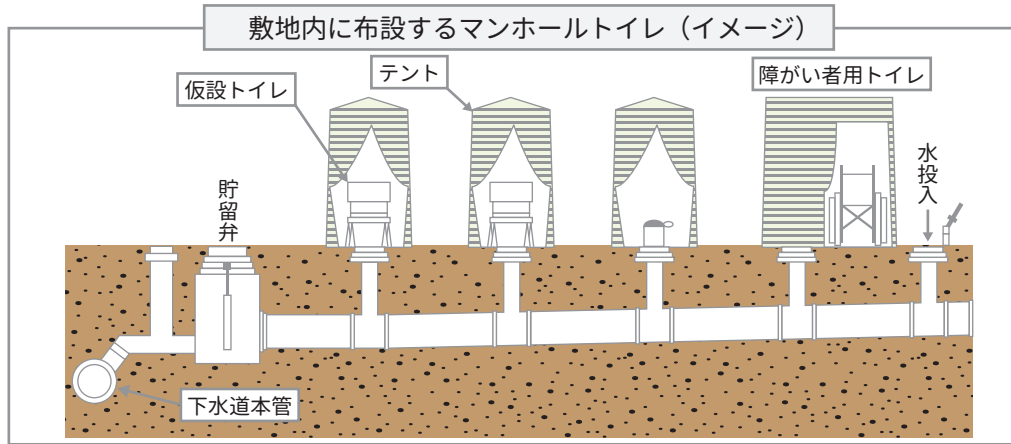
マンホールトイレシステム



マンホールトイレシステムの概要

地震・津波・風水害などの災害時には、停電・断水・下水道施設の機能停止により水栓トイレが使用できなくなることがあります。そこで、災害発生時でも安心・快適にトイレを使用できるよう、大規模災害時の避難所等にあらかじめ設置するのがマンホールトイレシステムです。

宮崎市では、下水道総合地震対策計画に基づき、主要な避難所及び総合支所等にマンホールトイレシステムを設置しています。



マンホールトイレ設置施設一覧

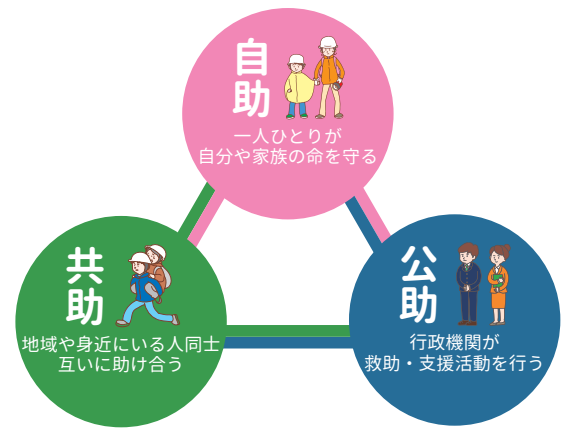
※合計設置基数：240 基

番号	学校・施設名称	設置基数	形式	設置地域	MAP 位置	番号	学校・施設名称	設置基数	形式	設置地域	MAP 位置
1	佐土原体育館	13	貯留型	佐土原町域	7-B-2	17	生目台中学校	6	貯留型	中心部・北部域	18-D-4
2	広瀬中学校	7	貯留型	佐土原町域	7-D-2	18	大淀中学校	7	貯留型	中心部・北部域 南部域	19-D-3 1-D-3
3	住吉中学校	7	流下型	佐土原町域 中心部・北部域	9-E-2 4-E-2	19	恒久小学校	5	流下型	南部域	3-A-1
4	宮崎北中学校	7	流下型	中心部・北部域	10-A-4	20	赤江小学校	5	流下型	南部域	3-B-2
5	東大宮小学校	5	流下型	中心部・北部域	11-E-7	21	赤江東中学校	6	流下型	南部域	3-B-2
6	大宮中学校	7	流下型	中心部・北部域	11-E-4	22	赤江中学校	5	流下型	南部域	3-D-1
7	小松台小学校	6	貯留型	中心部・北部域	14-B-7	23	木花中学校	6	貯留型	南部域	8-E-1
8	生目中学校	7	貯留型	中心部・北部域	14-C-5	24	青島中学校	5	貯留型	南部域	14-E-6
9	宮崎東中学校	7	流下型	中心部・北部域	15-C-6	25	高岡中学校	6	貯留型	高岡町域	6-A-5
10	宮崎公立大学 (体育館)	10	流下型	中心部・北部域	15-D-3	26	高岡総合支所	6	流下型	高岡町域	6-B-5
11	櫛中学校	6	流下型	中心部・北部域	16-D-1	27	加納小学校	5	貯留型	南部域 清武町域	4-A-2 5-A-2
12	大塚中学校	6	流下型	中心部・北部域	14-E-6	28	清武総合支所	2	流下型	清武町域 南部域	5-D-2 4-D-2
13	小戸小学校	6	流下型	中心部・北部域 南部域	19-A-3 1-A-3	29	清武小学校	7	流下型	南部域 清武町域	4-E-2 5-E-2
14	宮崎西小学校	6	貯留型	中心部・北部域	18-A-5	30	清武中学校	6	流下型	南部域 清武町域	4-E-2 5-E-2
15	宮崎市総合体育館	51	流下型	中心部・北部域 南部域	19-B-7 1-B-7	31	田野総合支所	2	貯留型	清武町域 田野町域	6-C-1 7-C-1
16	宮崎中学校	6	貯留型	中心部・北部域 南部域	19-C-6 1-C-6	32	田野小学校	4	貯留型	清武町域 田野町域	6-C-2 7-C-2

災害に強い地域をつくりませんか？

ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動 **公助** は交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える **自助** とともに、地域での助け合い **共助** による地域の防災力が重要となります。

災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため「自主防災組織」の活動を通じて、共助の強化、地域の防災力の協力に向けた取り組みを始めてみませんか？

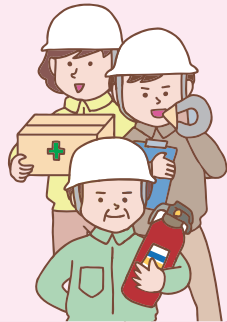


Point 1

自主防災組織とは？

火災発生時はもちろん、日ごろから地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を **自主防災組織** と言います。

平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食・給水などの活動を行います。



Point 2

なぜ自主防災組織が必要な？

大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。

このような時、地域の皆さんと一緒に協力し、災害や避難に関する

情報の伝達 **避難誘導** **安否確認** **救出救護活動**

に取り組むことで被害の軽減を図ることができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。

より効率よく、様々な活動をするためにも事前の準備（体制づくり）が重要です

	情報班	消火班	避難誘導班	救出救護班	給食・給水班
平常時	<ul style="list-style-type: none"> 住民に対する連絡体制、手段の検討 情報収集、伝達訓練の実施 防災意識の啓発、高揚に関する広報 公的防災機関との連携確保 	<ul style="list-style-type: none"> 初期消火訓練の実施 消火用水の確保、確認 出火防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に避難路、避難場所を把握 避難誘導訓練の実施 避難路の安全点検 避難行動要支援者の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当、衛生知識の普及 救命講習への参加 応急医薬品、救助資機材の確保、点検 技能、ノウハウを持った住民の把握 救命用資機材の点検、確保 	<ul style="list-style-type: none"> 食料、飲料水の個人備蓄についての普及啓発 炊き出し訓練の実施 炊き出し用資機材の確保、点検
緊急時	<ul style="list-style-type: none"> 災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達 地域内の被害情報を収集し、本部へ報告 混乱回避、出火防止等の広報 	<ul style="list-style-type: none"> 初期消火活動 情報班と連携しての出火防止等の広報 	<ul style="list-style-type: none"> 情報班と連携しての避難の呼びかけ 安全な経路を選択しての避難誘導 避難行動要支援者の避難支援 避難地での安否確認 安否確認による救出救護班への情報伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 避難誘導班と連携しての速やかな救出 負傷者の搬送、応急手当の救護 避難所、救護所での救護活動への協力 	<ul style="list-style-type: none"> 食料や水、救援物資等の受入、配布 必要に応じて炊き出し



風水害時の指定避難所一覧

施設名		住所	車椅子 スロープ	障がい者トイレ	MAP 位置
田 野	田野小学校	田野町甲 2856	○	○ (オスト)	7-C-2
	田野西地区公民館	田野町乙 3533-1	○	○ (オスト)	6-E-5
	七野小学校	田野町乙 3521-2	○	○	6-E-5
	田野中学校	田野町甲 2826-3	○	○	7-D-1
	田野体育館	田野町乙 10905-26	○	○	7-B-2
	田野文化会館	田野町甲 2818	○	○ (オスト)	7-C-1

※オスト=「オストメイト対応トイレ」

主要施設

施設名	住所	TEL	MAP 位置
南消防署 南部出張所	清武町今泉甲 3609-5	85-1183	8-B-1
田野総合支所	田野町甲 2818	86-1111	7-C-1

ライフライン

施設名	住所	TEL	MAP 位置
宮崎市上下水道局田野営業所	田野町甲 2818	86-1210	7-C-1

救急告知施設

施設名	住所	TEL	MAP 位置
宮崎市立田野病院	田野町南原 1-6-2	86-1155	7-D-1

MAPの見かたと地域全体図



MAPの見かた

災害の種類と災害区域内の着色 指定避難所等の施設マーク MAP凡例

河川洪水浸水想定区域 L2 (想定最大規模)		土砂災害			
	20.0m以上の区域	土砂警戒区域	土石流	土石流が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域	
	10.0m～20.0m未満の区域		急傾斜地の崩壊	急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域	
	5.0 m～10.0m未満の区域		地すべり	地すべりが発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域	
	3.0m～5.0m未満の区域		土砂災害特別警戒区域	土石流	土石流が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域
	1.0m～3.0m未満の区域			急傾斜地の崩壊	急傾斜地の崩壊が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域
	0.5m～1.0m未満の区域				
	0.3m～0.5m未満の区域				
	0.3m未満の区域				
浸水想定区域対象河川は、宮崎河川国道事務所と宮崎県が、管轄している、大淀川・本庄川・深年川、一ツ瀬川・三財川、石崎川、八重川、新別府川、大谷川、瓜田川、加江田川、清武川 です。					
	家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)	施設マーク			
	過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)		
浸水実績箇所の対象降雨: 平成13年10月豪雨(内水) 平成17年9月台風14号(内水と洪水が複合) 平成28年9月台風16号(内水) 平成29年9月台風18号(内水) 平成29年10月台風22号(内水) 平成30年9月台風24号(内水) 令和元年9月豪雨(内水)			指定避難所 (洪水浸水想定区域内)		
	アンダーパス (道路や線路の下部にある通路)		主要施設		
	災害危険区域		救急告知施設 (病院)		
			ライフライン (電気・ガス・水道・電話)		
			指定水位観測所		

洪水浸水想定区域図は、河川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。想定しうる最大規模の雨量を超える降雨や、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

また、シミュレーションの関係上、堤防等に隣接する着色されていない区域にお住まいの方につきましては、周辺の想定浸水深の状況を参考としてください。

MAP凡例	道路		公共施設			
		有料道路		支所・官公署		郵便局
		橋通		町役場		金融機関
		国道		警察機関		図書館
		県道		消防署		主な運動施設
		その他の道路		大学・短大		宿泊施設
		J R線路		小・中・高校		キャンプ場
		他の市町との境界線		その他の学校		ゴルフ場
		大字町名境界線		寺社		観光スポット
		河川・ため池		神社		

宮崎市洪水ハザードマップ 令和3年3月

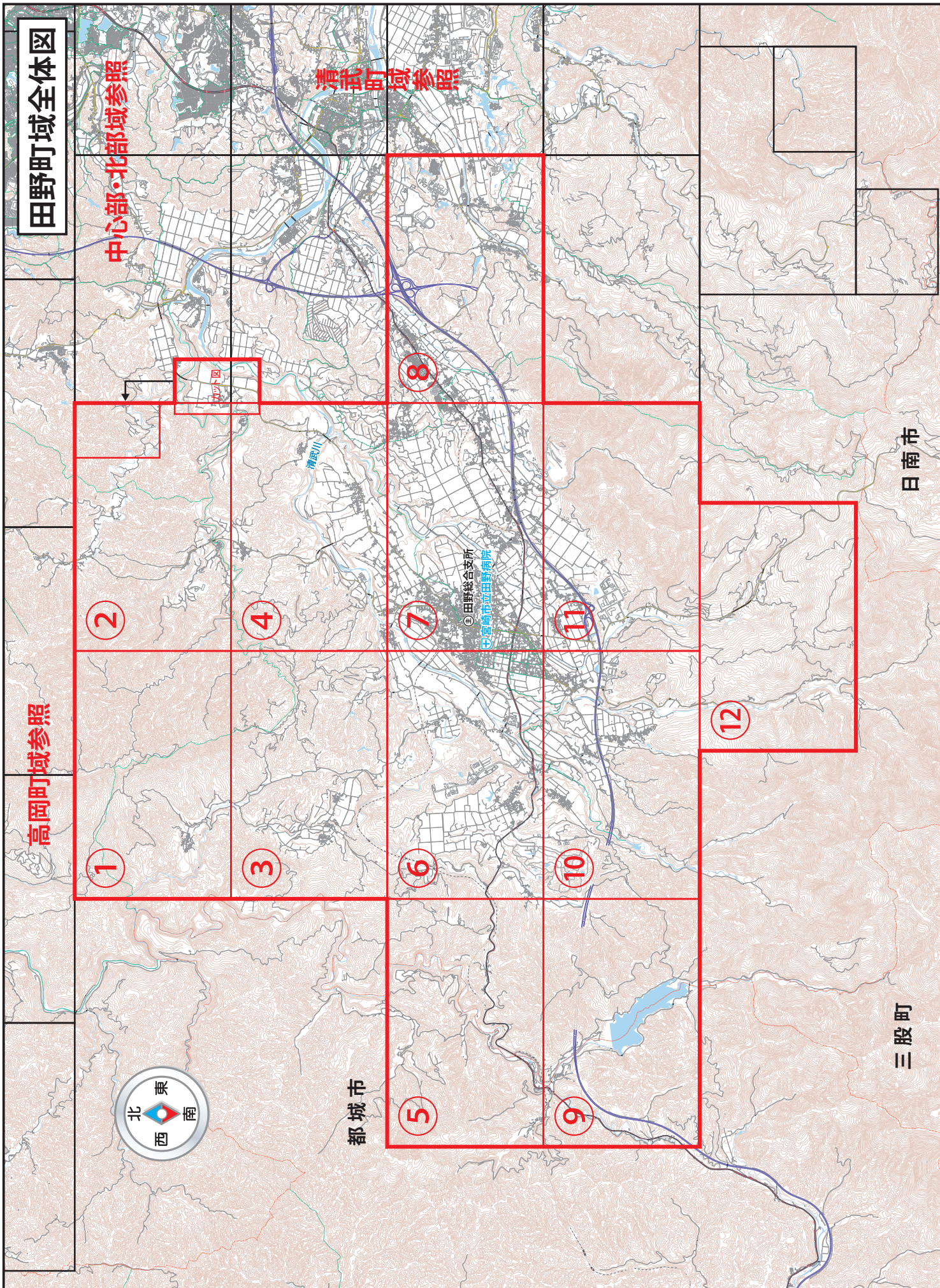
発行：宮崎市役所 危機管理部 危機管理課 TEL0985-21-1730

無断で複写、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは著作権法により禁止されています。
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-104号」「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 294-009号」
 「この地図は、宮崎市長の承認を得て、同市所管の1/10,000及び1/2,500現況図を使用して調整したものである。(文書番号)宮都計第29-5号」令和元年5月23日

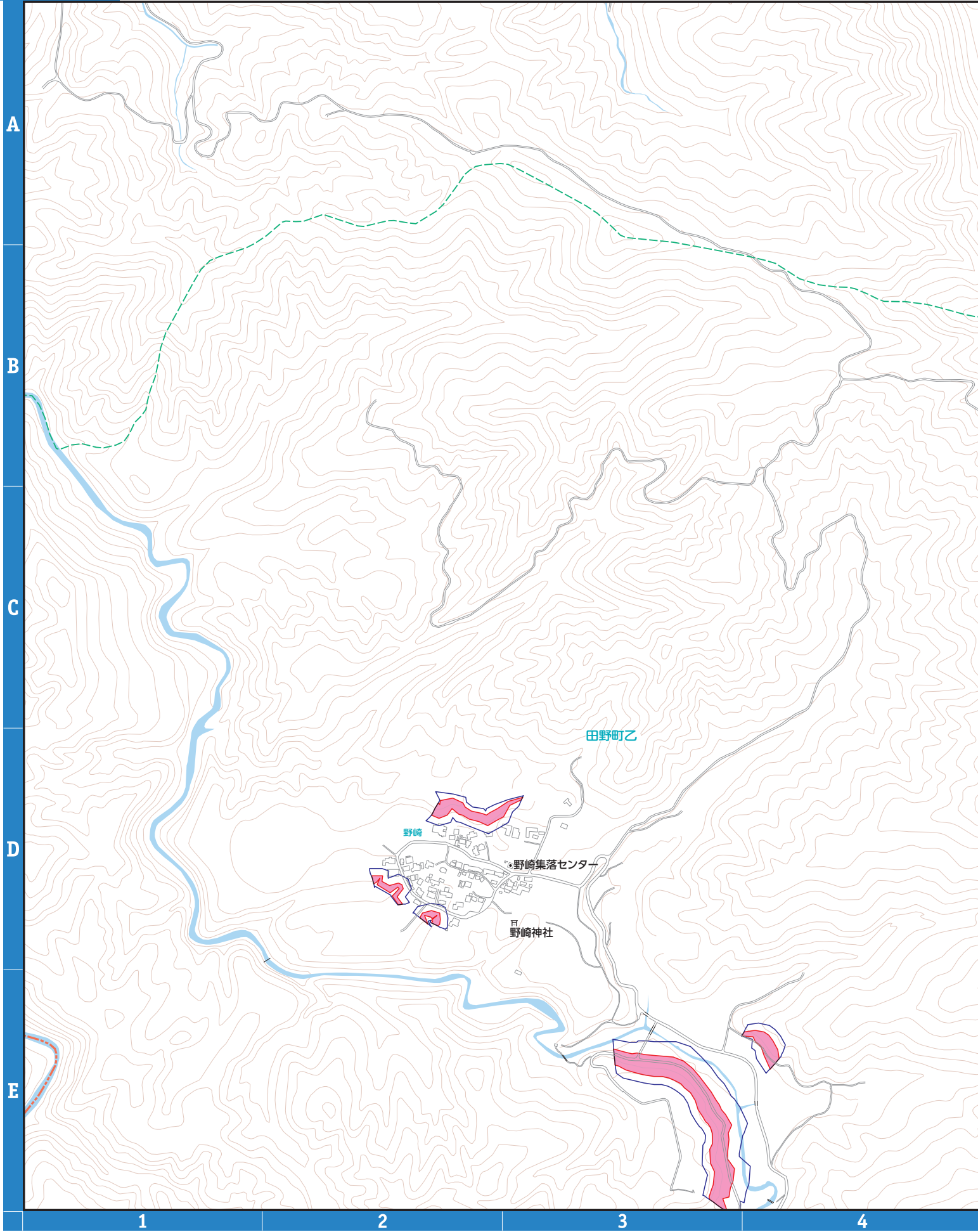
制作・著作：株式会社ゼンリン宮崎営業所 TEL0985-24-8887 ©2021 ZENRIN CO., LTD.






【お断り】

本文中の地図は弊社地図データをもとに作成しております。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報収集も加えて製作しております。作成には細心の注意を払って編集作業を行っておりますが、データ量は膨大であり日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また目標名称等は見易さを優先し正式名称などを一部割愛したり旧字を新字で表現しております。申し訳ございませんが、何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。







凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域		家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)	
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域			指定水位観測所
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域			アンダーパス
		救急告知施設 (病院)			1.0m~3.0m未満の区域			災害危険区域
		ライフライン		0.5m~1.0m未満の区域				
				0.3m~0.5m未満の区域				
				0.3m未満の区域				

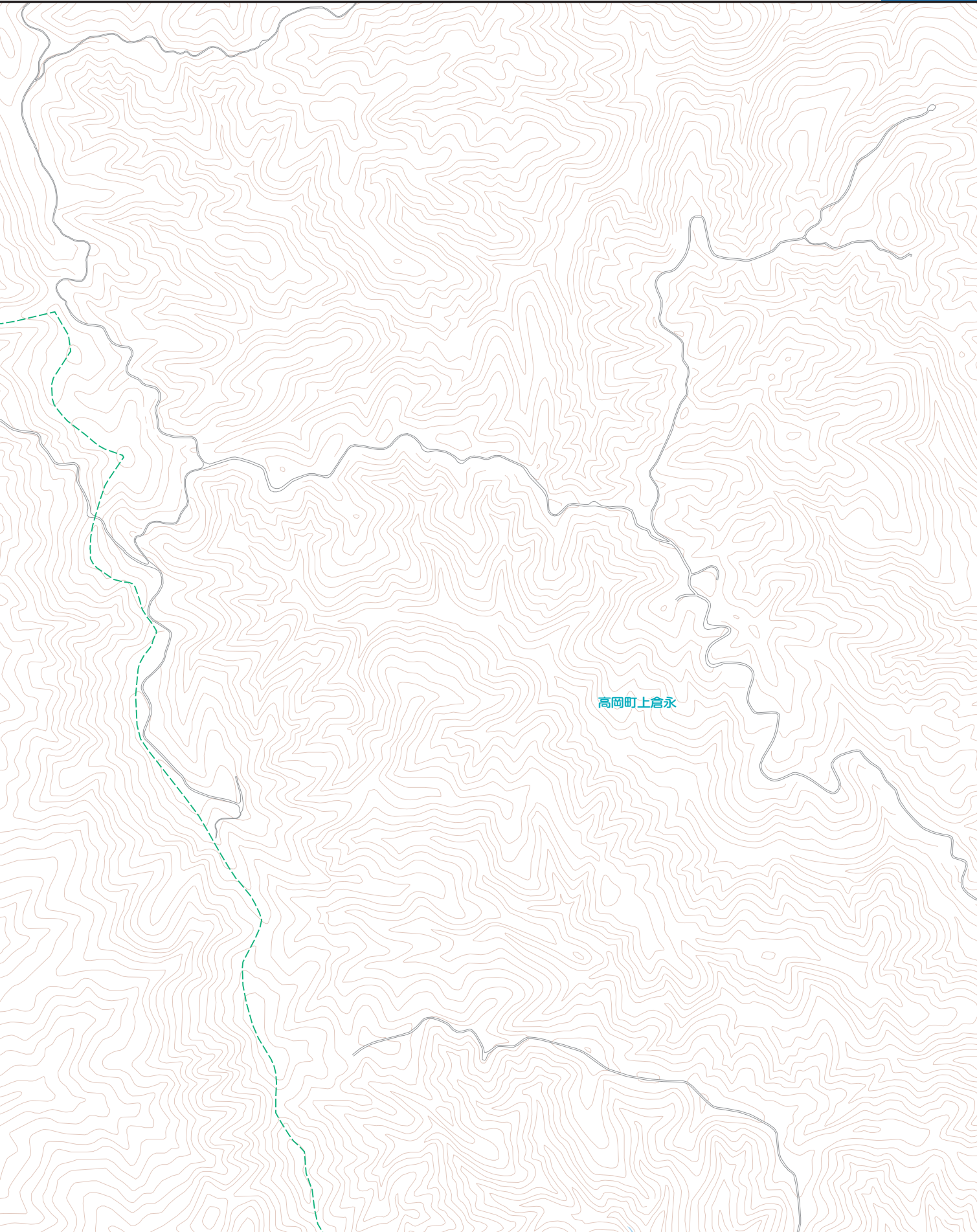


凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
		土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域		



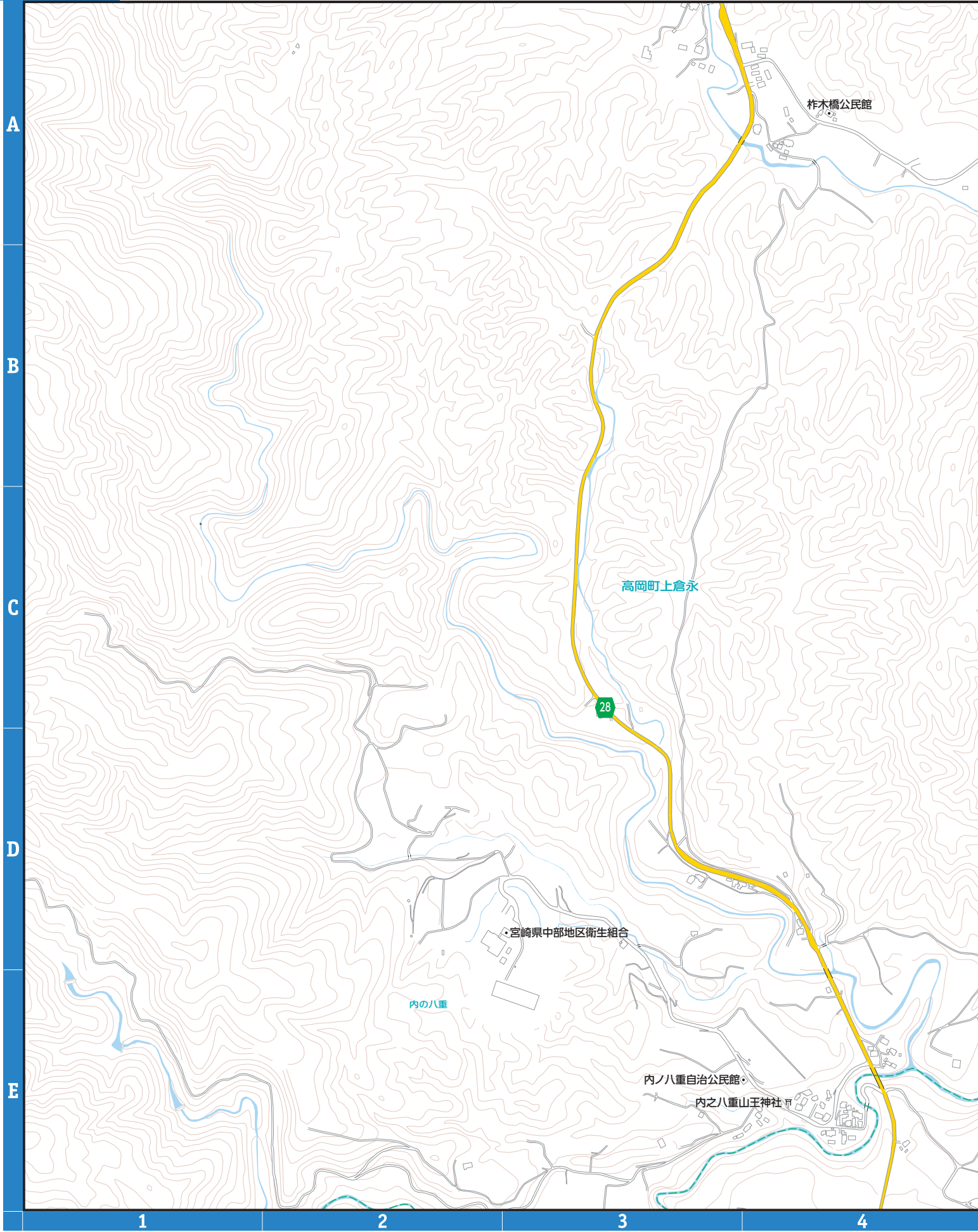
0 100 200 250m
縮尺 1:10,000








高岡町上倉永

2

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域	家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)			
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域		指定水位観測所		
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)	
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域				アンダーパス
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域				
			0.5m~1.0m未満の区域						
			0.3m~0.5m未満の区域						
			0.3m未満の区域						

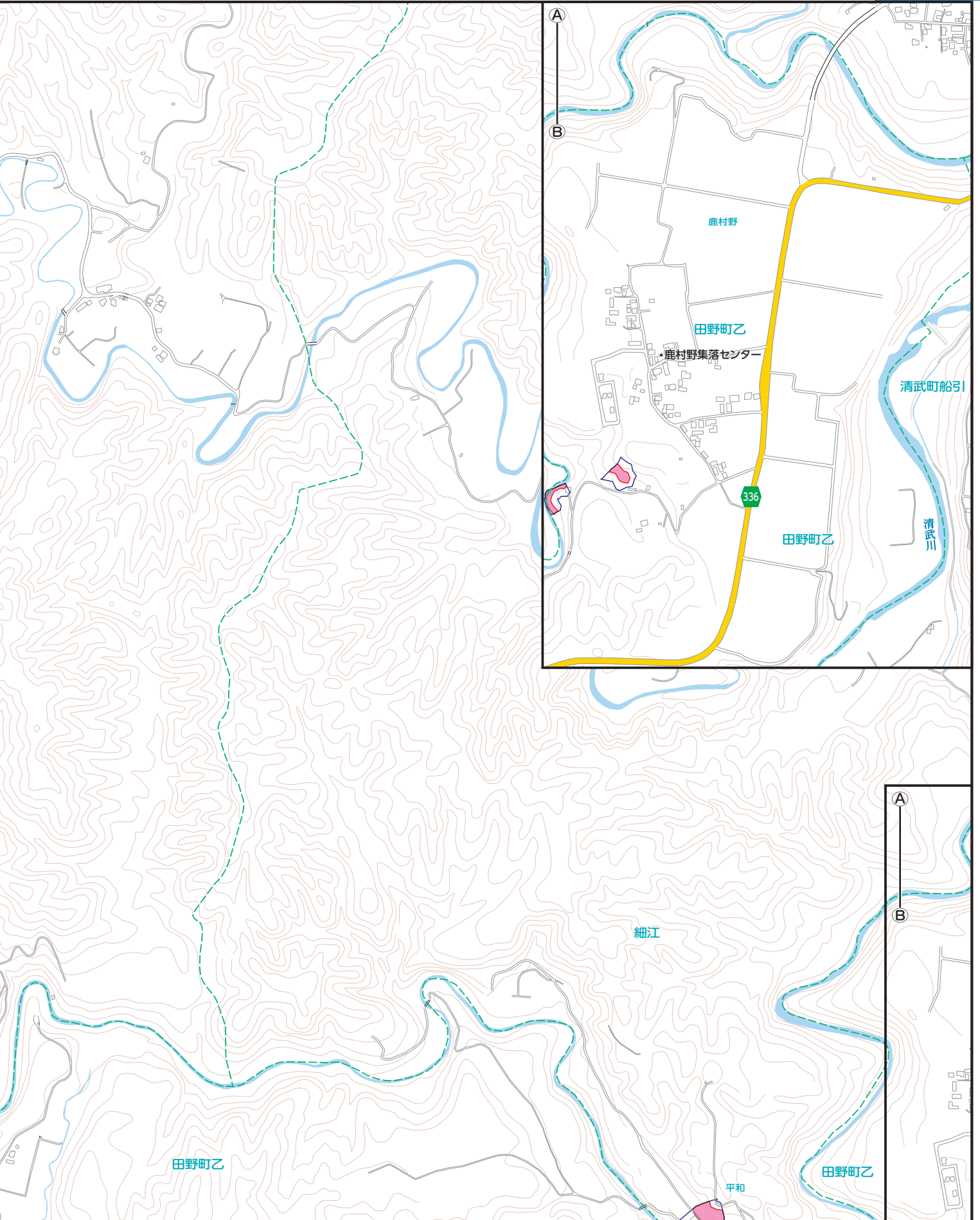


凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域			



1	2
3	4

0 100 200 250m
縮尺 1:10,000



5

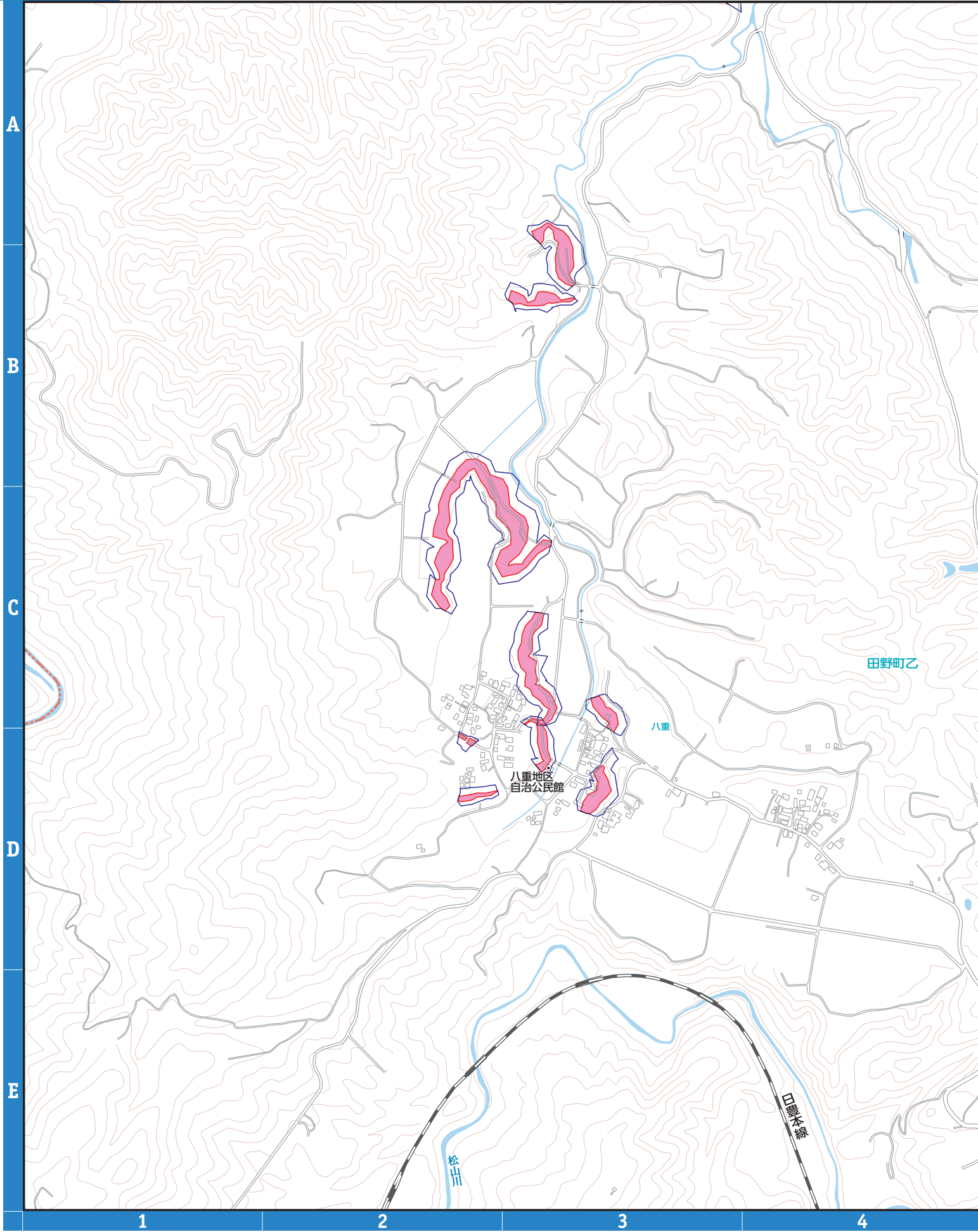
6






7

8

3

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域		家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)	
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域			指定水位観測所
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域			アンダーパス
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域			災害危険区域
				0.5m~1.0m未満の区域				
				0.3m~0.5m未満の区域				
				0.3m未満の区域				

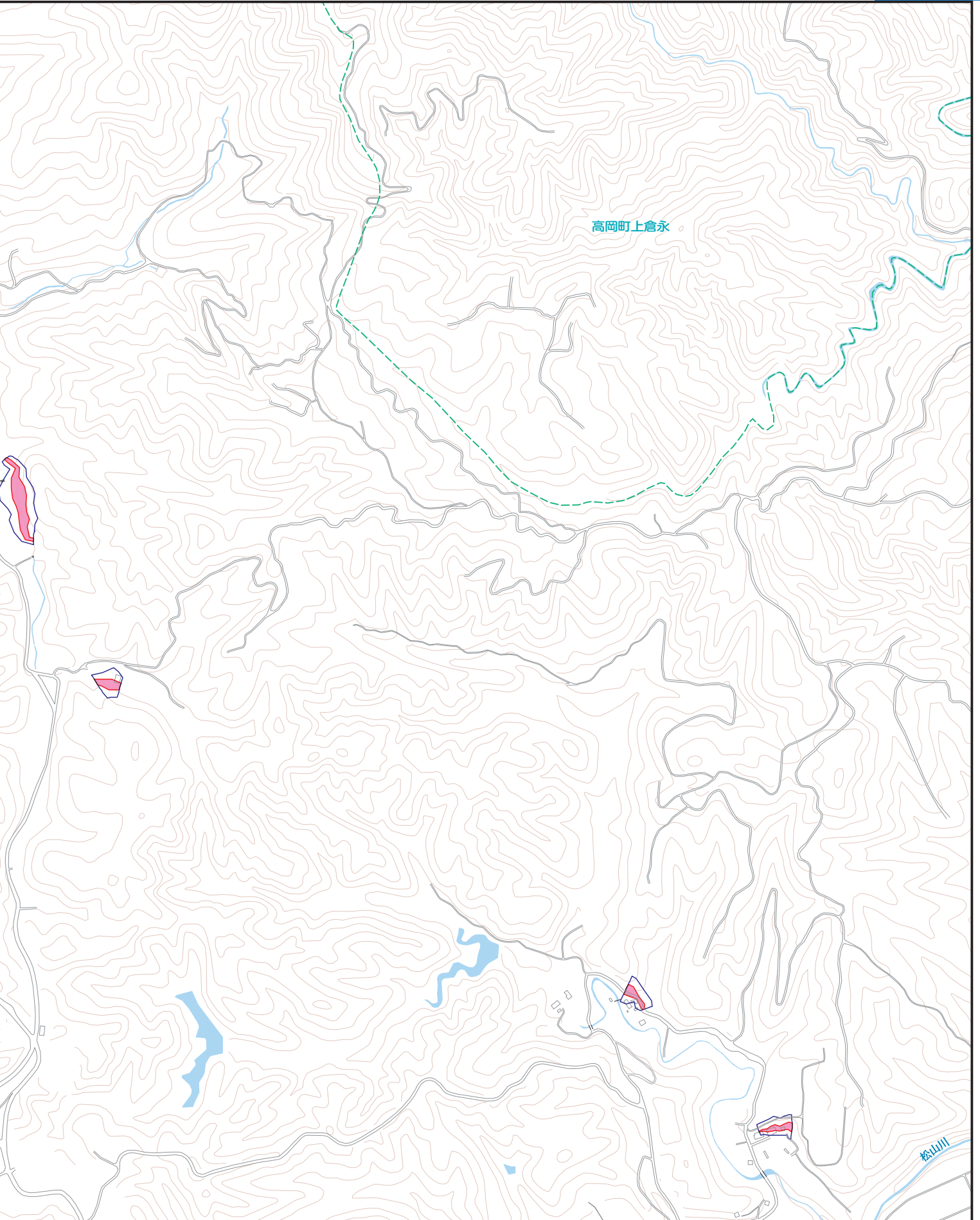


凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域			



	1	2
	3	4
5	6	7

0 100 200 250m
縮尺 1:10,000



5

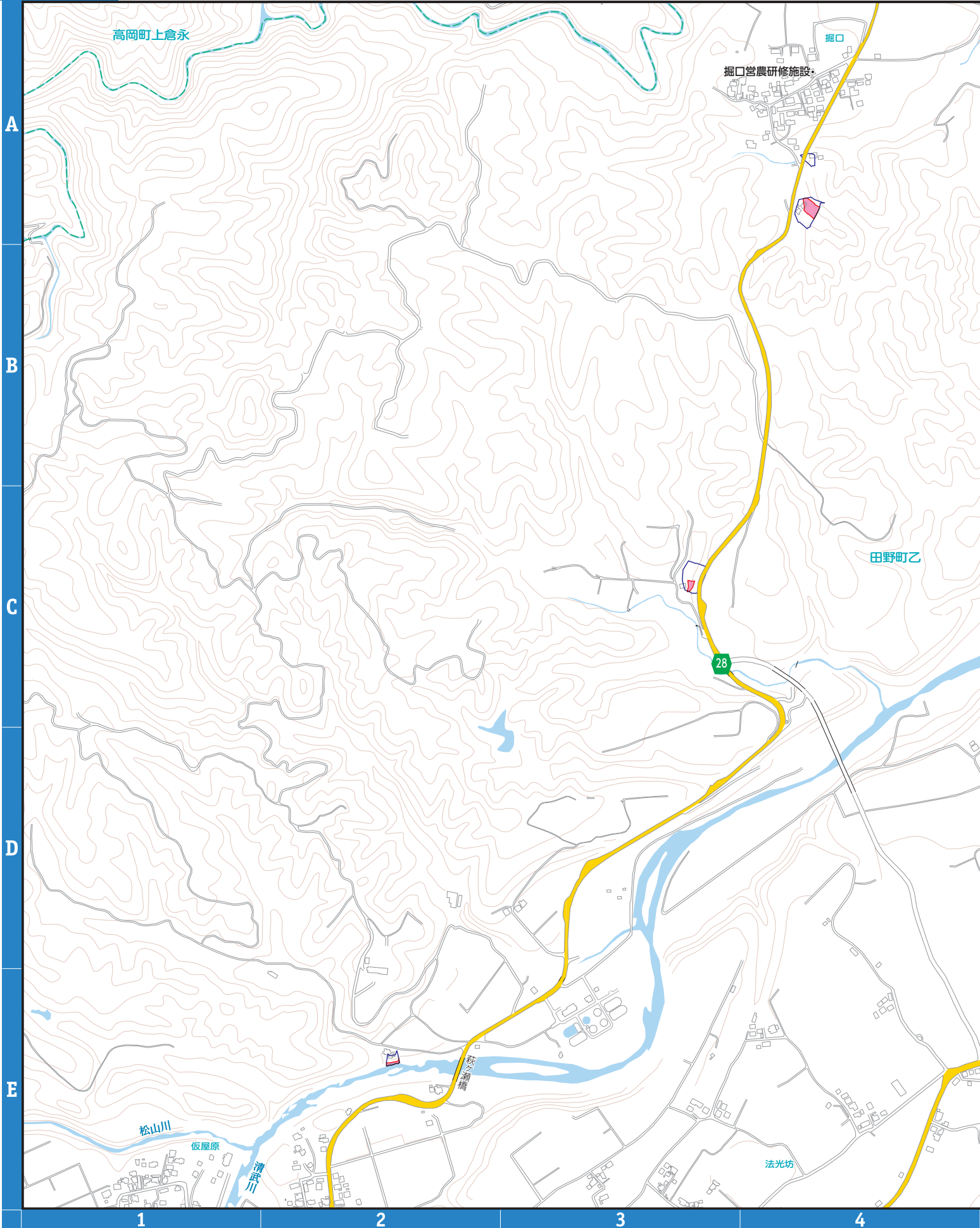
6






7

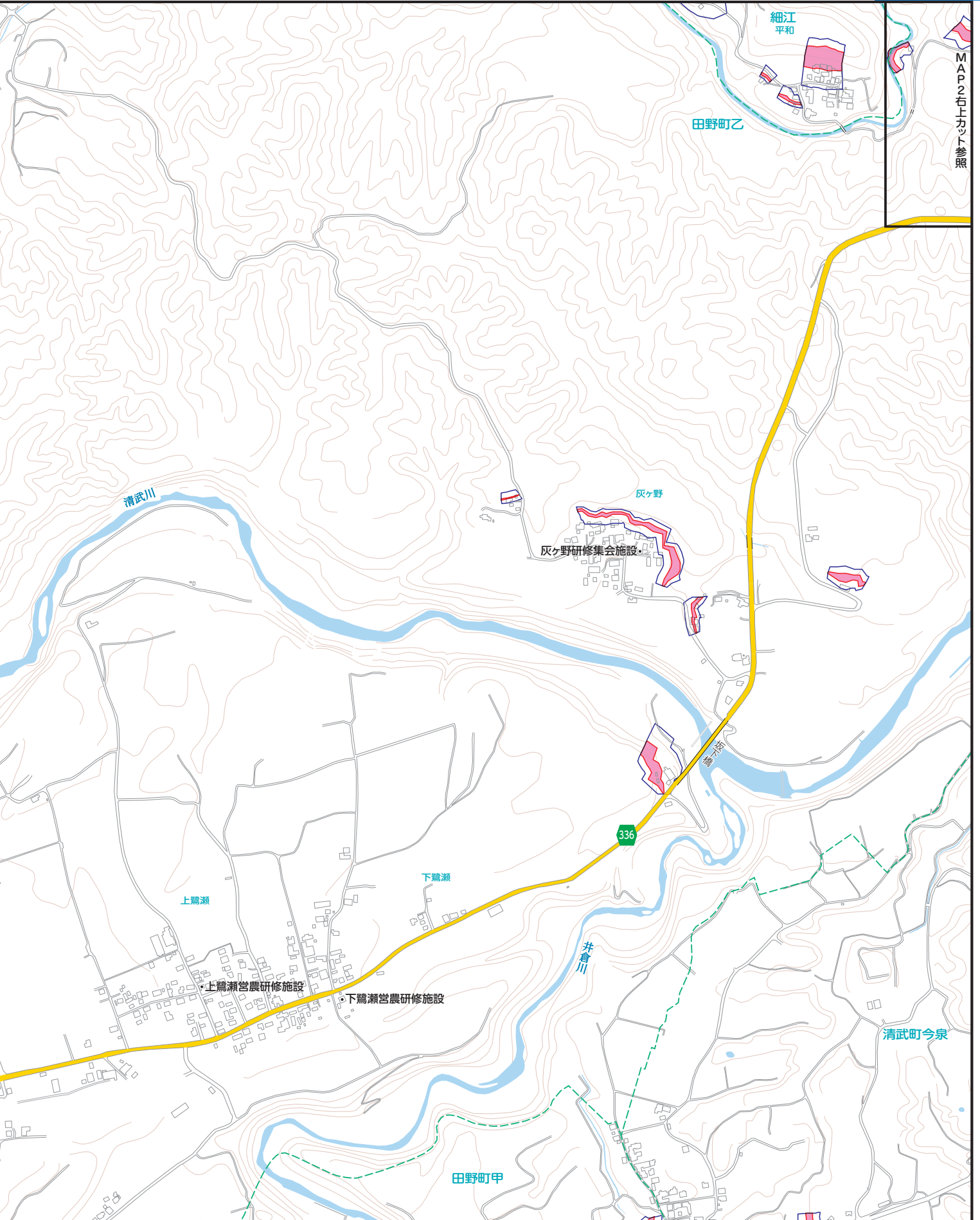
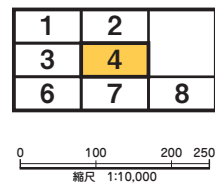
8

4

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域	家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食) 指定水位観測所 過去の浸水箇所 (台風・豪雨等) アンダーパス 災害危険区域
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域	
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域	
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域	
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域	
				0.5m~1.0m未満の区域		
				0.3m~0.5m未満の区域		
				0.3m未満の区域		



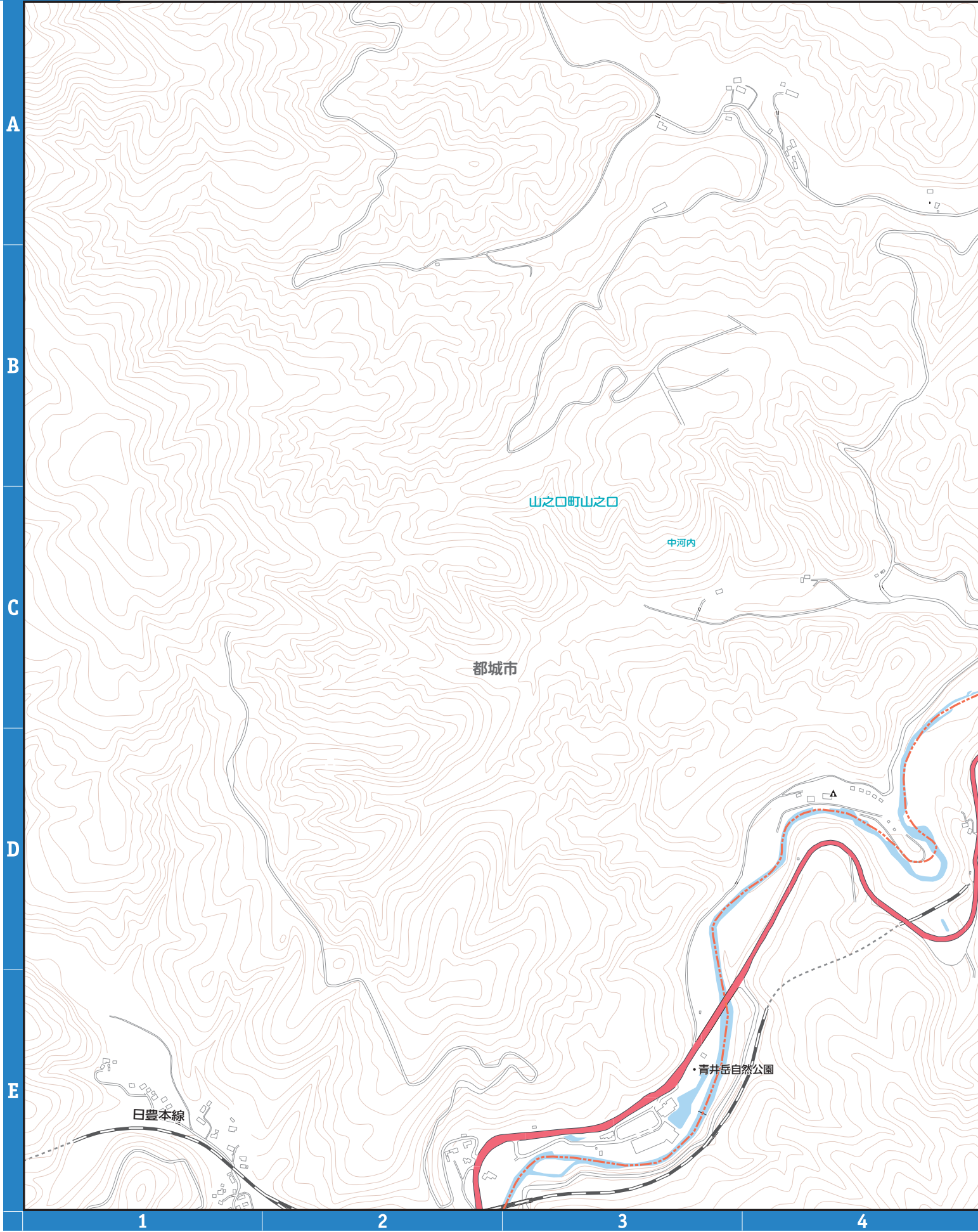
凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流警戒区域		急傾斜地警戒区域		地すべり警戒区域
	土石流特別警戒区域		急傾斜地特別警戒区域			








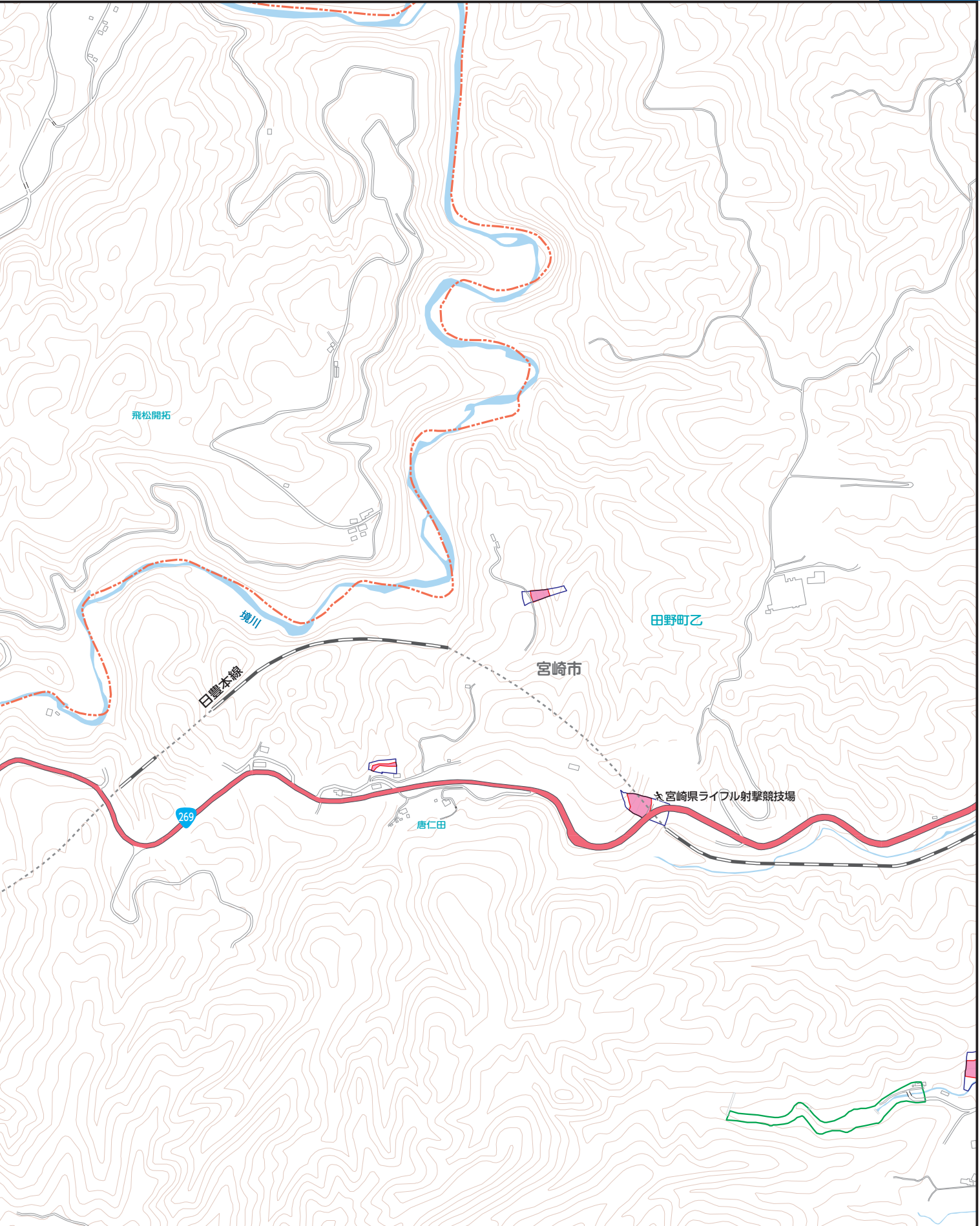
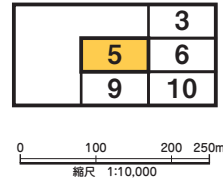
MAP 2 右エカット参照

5

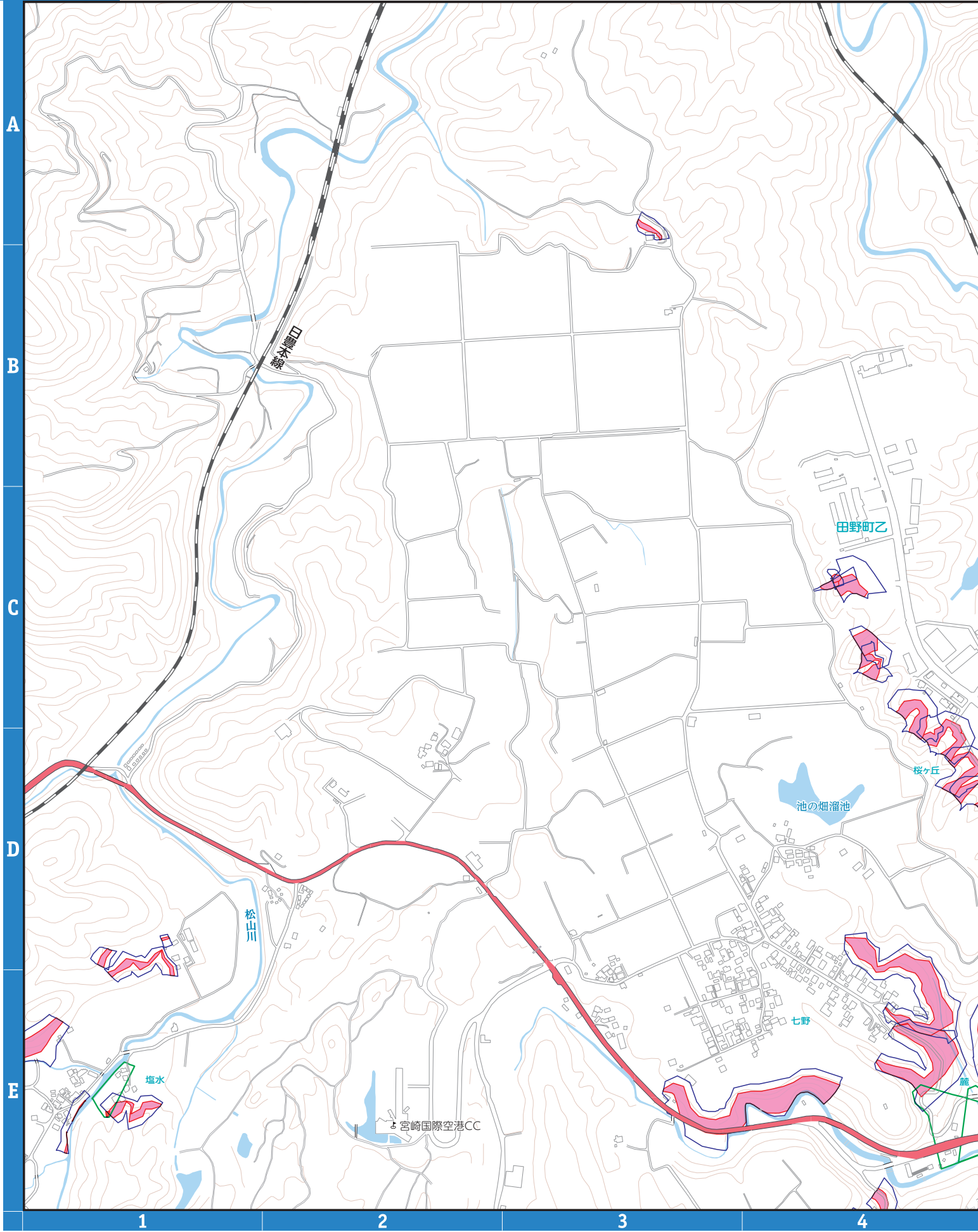
凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域		家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)			
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域			指定水位観測所		
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域				過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)	
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域					アンダーパス
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域					
			0.5m~1.0m未満の区域							
			0.3m~0.5m未満の区域							
			0.3m未満の区域							



凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
		土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域		



凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域			指定水位観測所
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域			アンダーパス
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域			災害危険区域
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域			
				0.5m~1.0m未満の区域				
				0.3m~0.5m未満の区域				
				0.3m未満の区域				



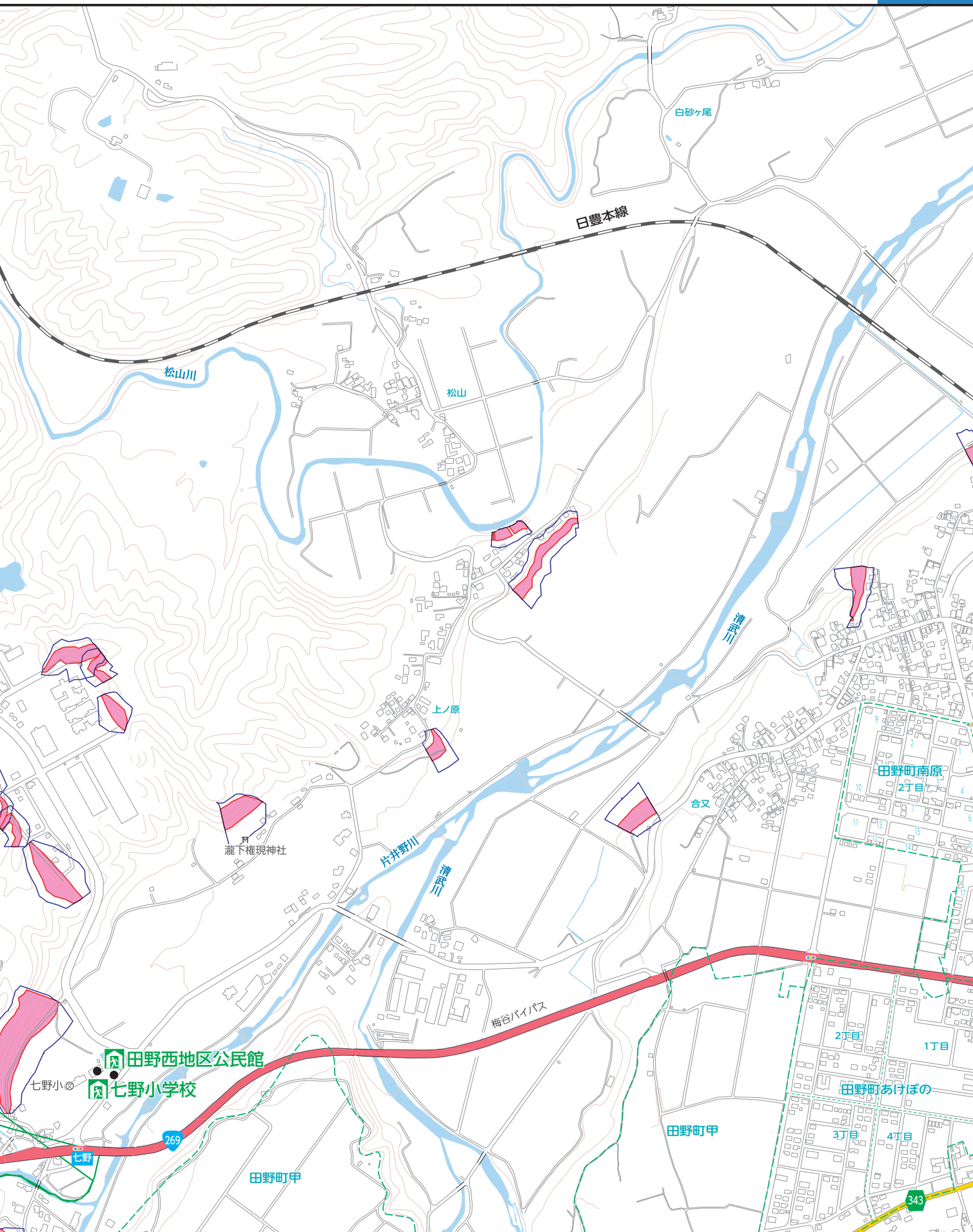
凡例	土石流 警戒区域	急傾斜地の崩壊 警戒区域	地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域	急傾斜地 特別警戒区域	



	3	4
5	6	7
9	10	11

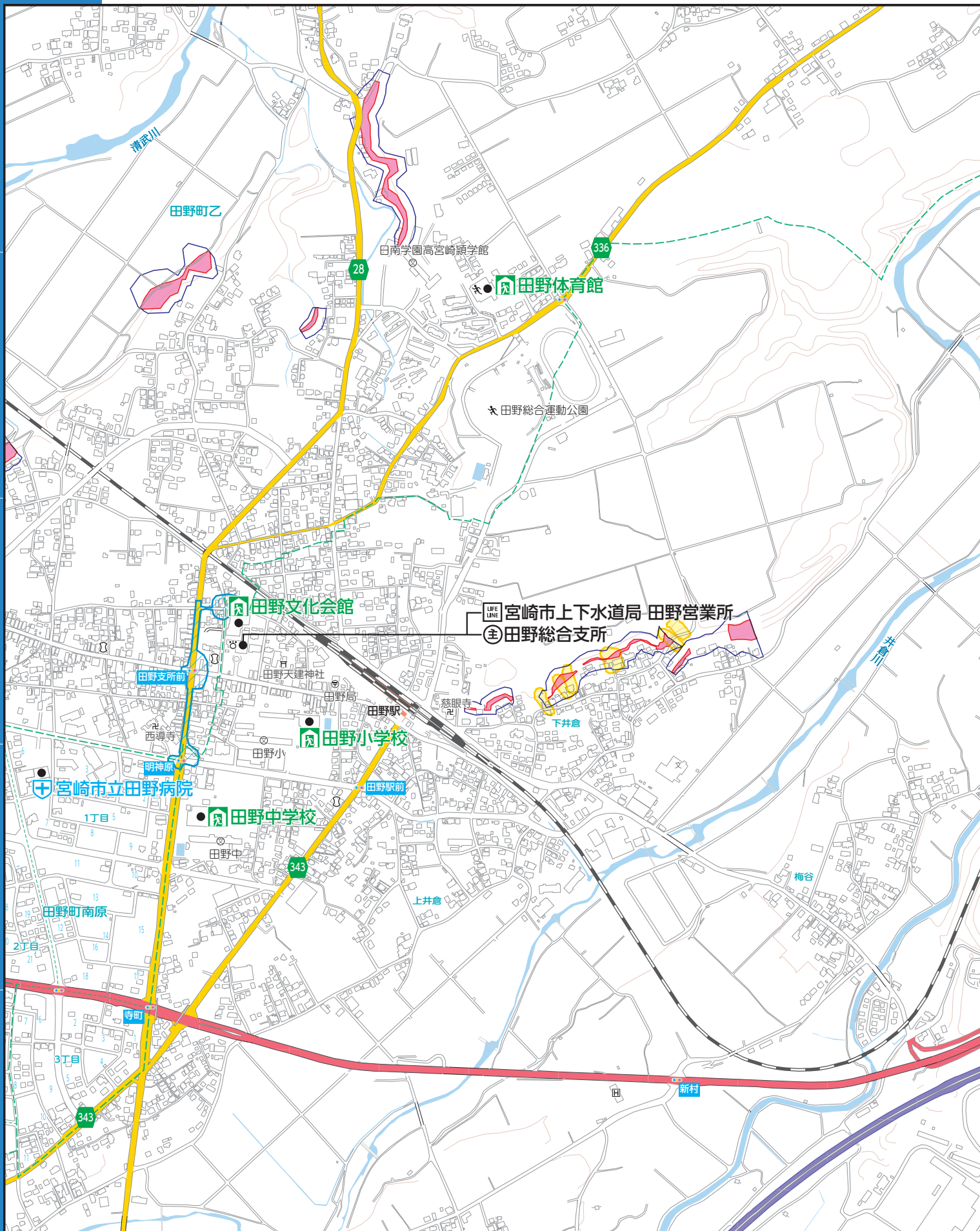
0 100 200 250m
縮尺 1:10,000

6



5 6 7 8

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)		20.0m以上の区域	
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)		10.0m~20.0m未満の区域	
		主要施設		5.0m~10.0m未満の区域	
		救急告知施設 (病院)		3.0m~5.0m未満の区域	
		ライフライン		1.0m~3.0m未満の区域	
				0.5m~1.0m未満の区域	
				0.3m~0.5m未満の区域	
				0.3m未満の区域	

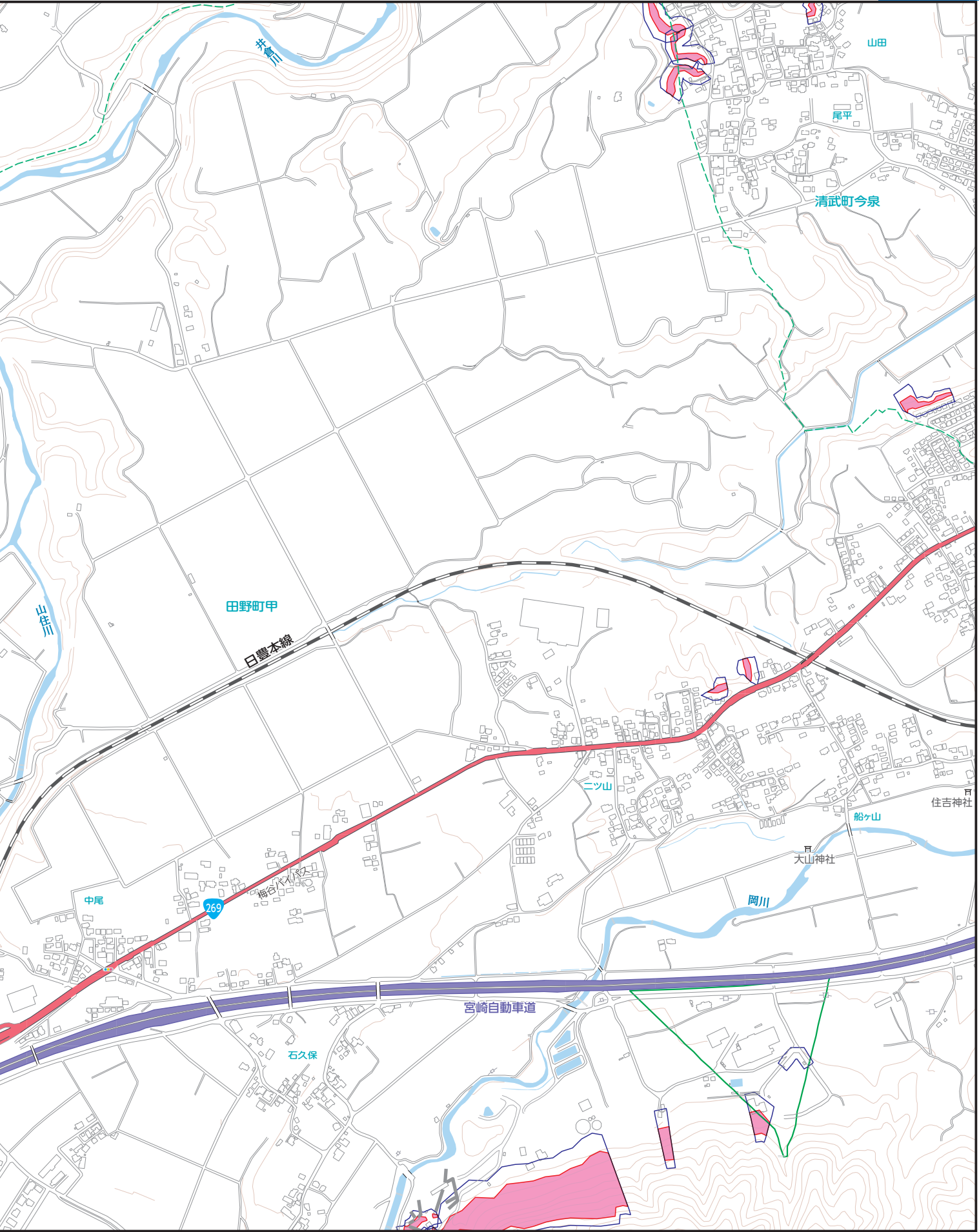


凡例	土石流 警戒区域	急傾斜地の崩壊 警戒区域	地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域	急傾斜地 特別警戒区域	



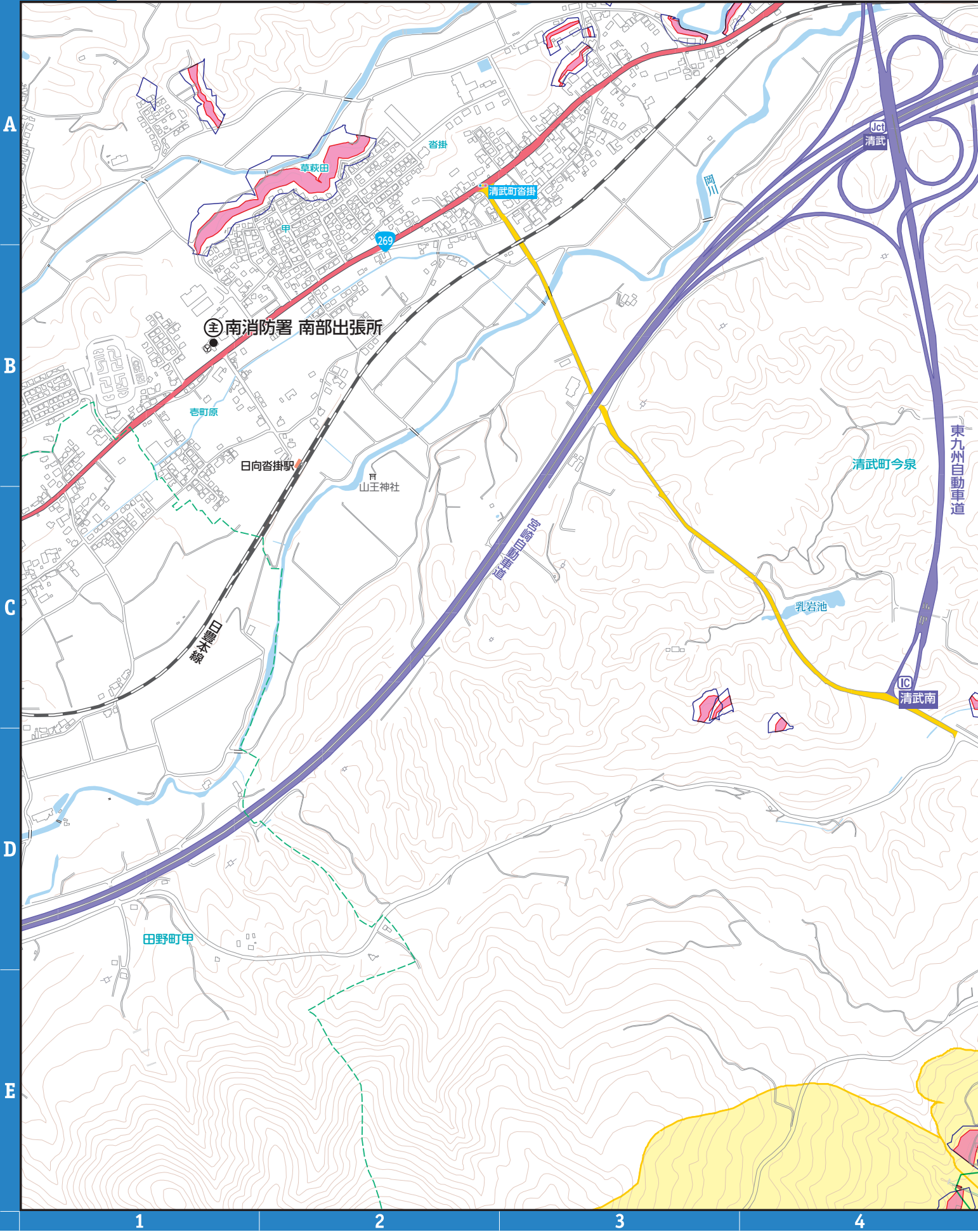
3	4	
6	7	8
10	11	






0 100 200 250m
縮尺 1:10,000

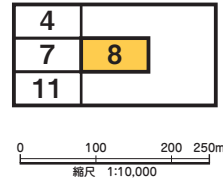


5 6 7 8

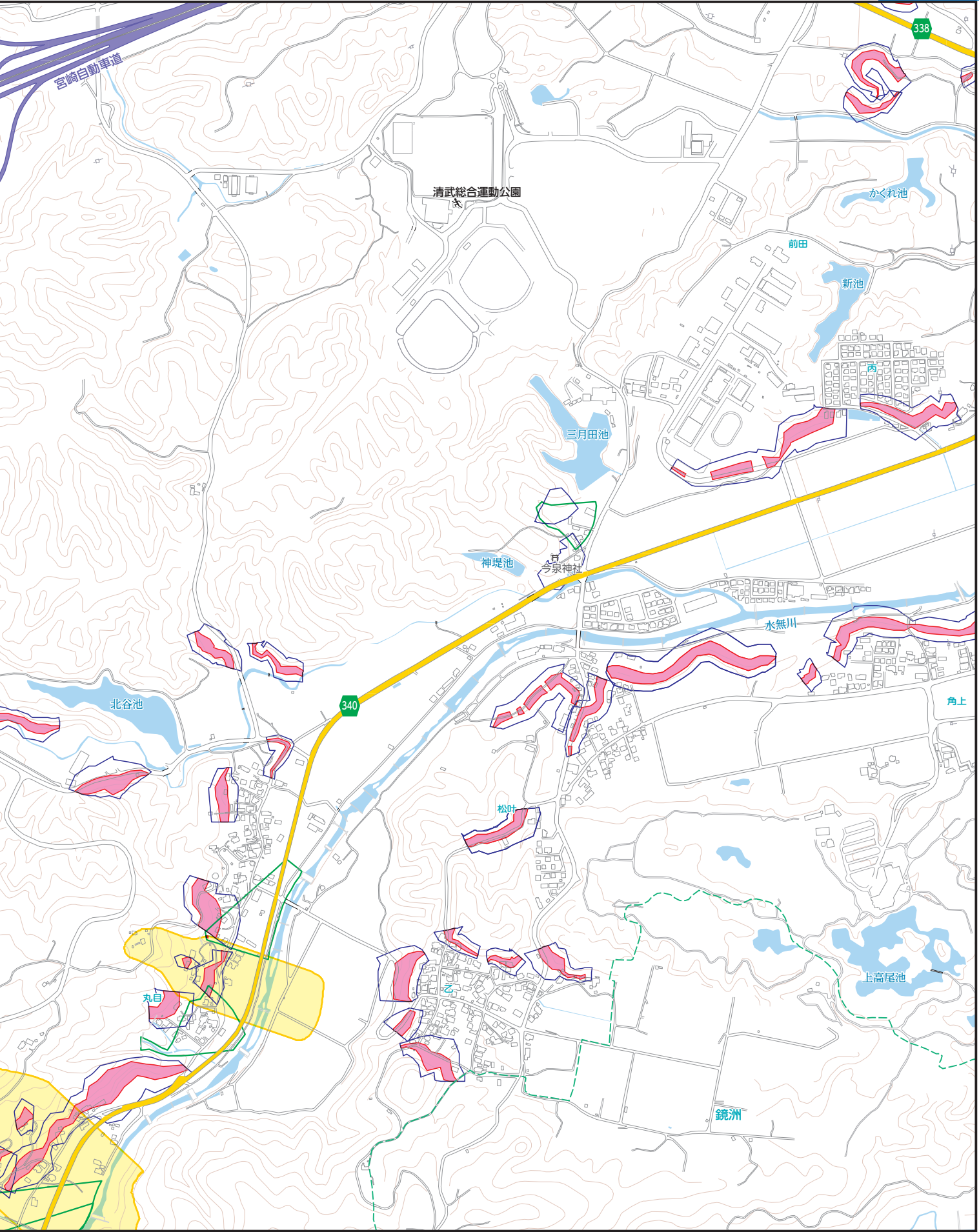
凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域	家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)			
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域		指定水位観測所		
		主要施設			5.0m~10.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)	
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域				アンダーパス
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域				
			0.5m~1.0m未満の区域						
			0.3m~0.5m未満の区域						
			0.3m未満の区域						



凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域			

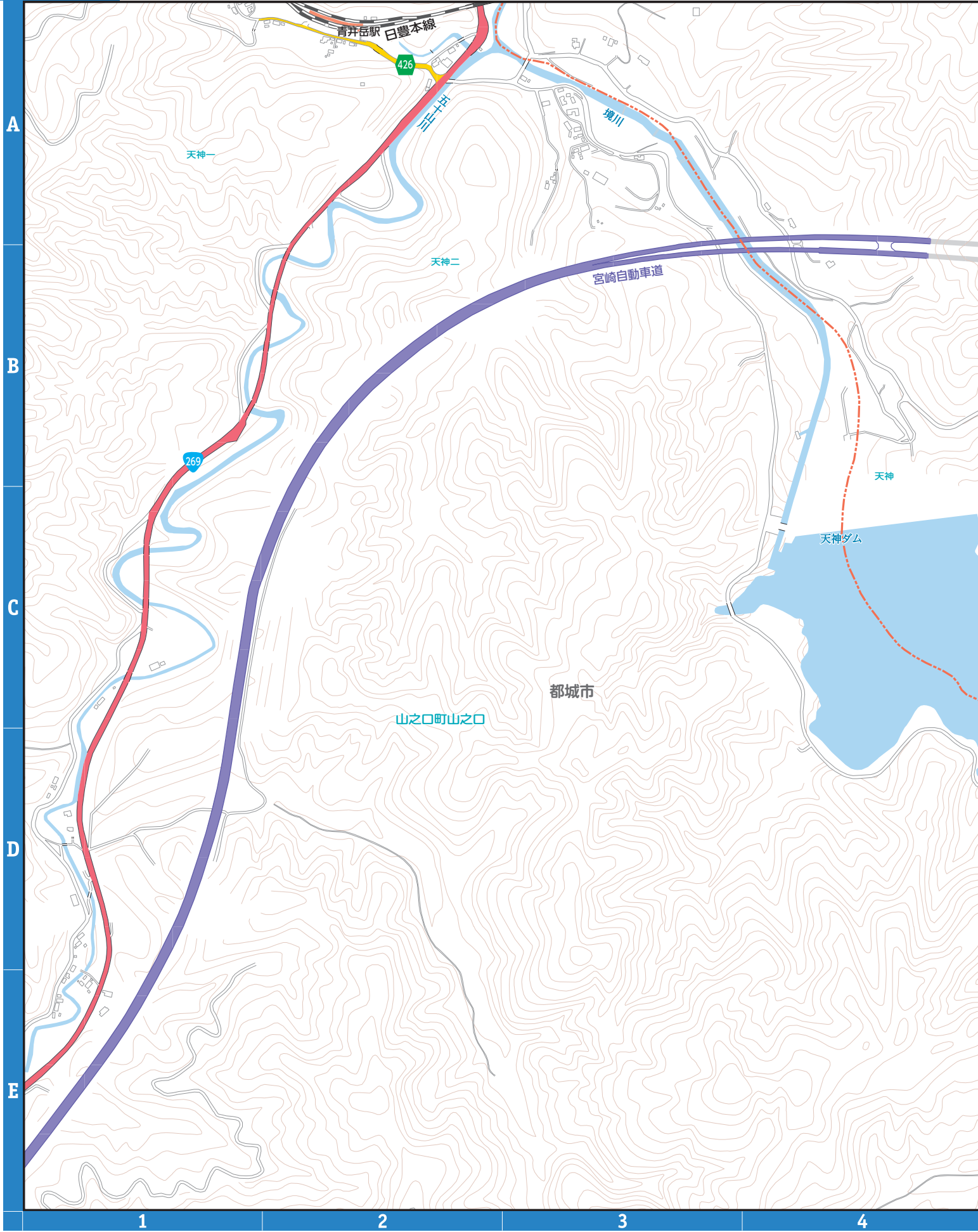







8



5 6 7 8

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域			指定水位観測所
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域			アンダーパス
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域			災害危険区域
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域			
				0.5m~1.0m未満の区域				
				0.3m~0.5m未満の区域				
				0.3m未満の区域				

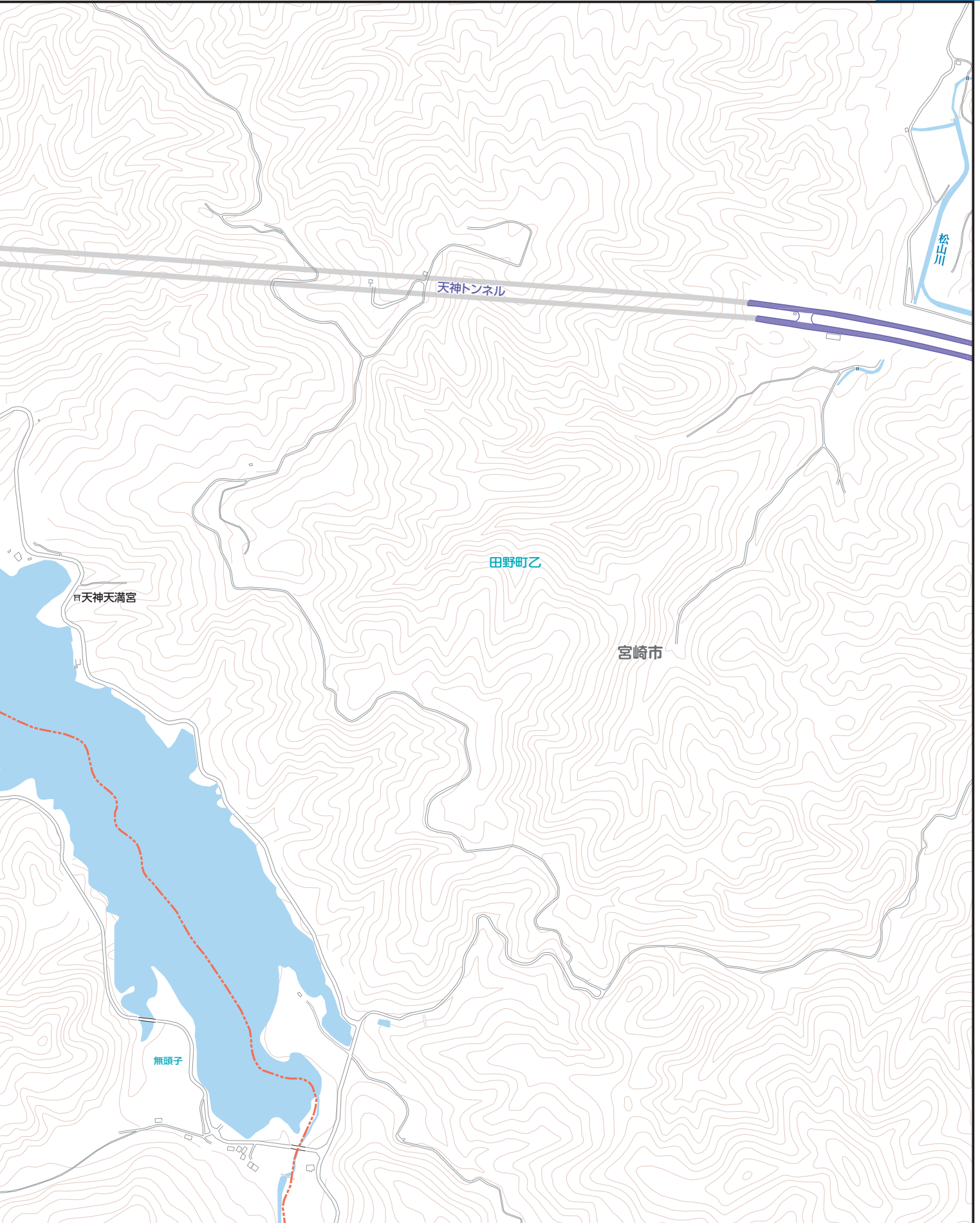


凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域			



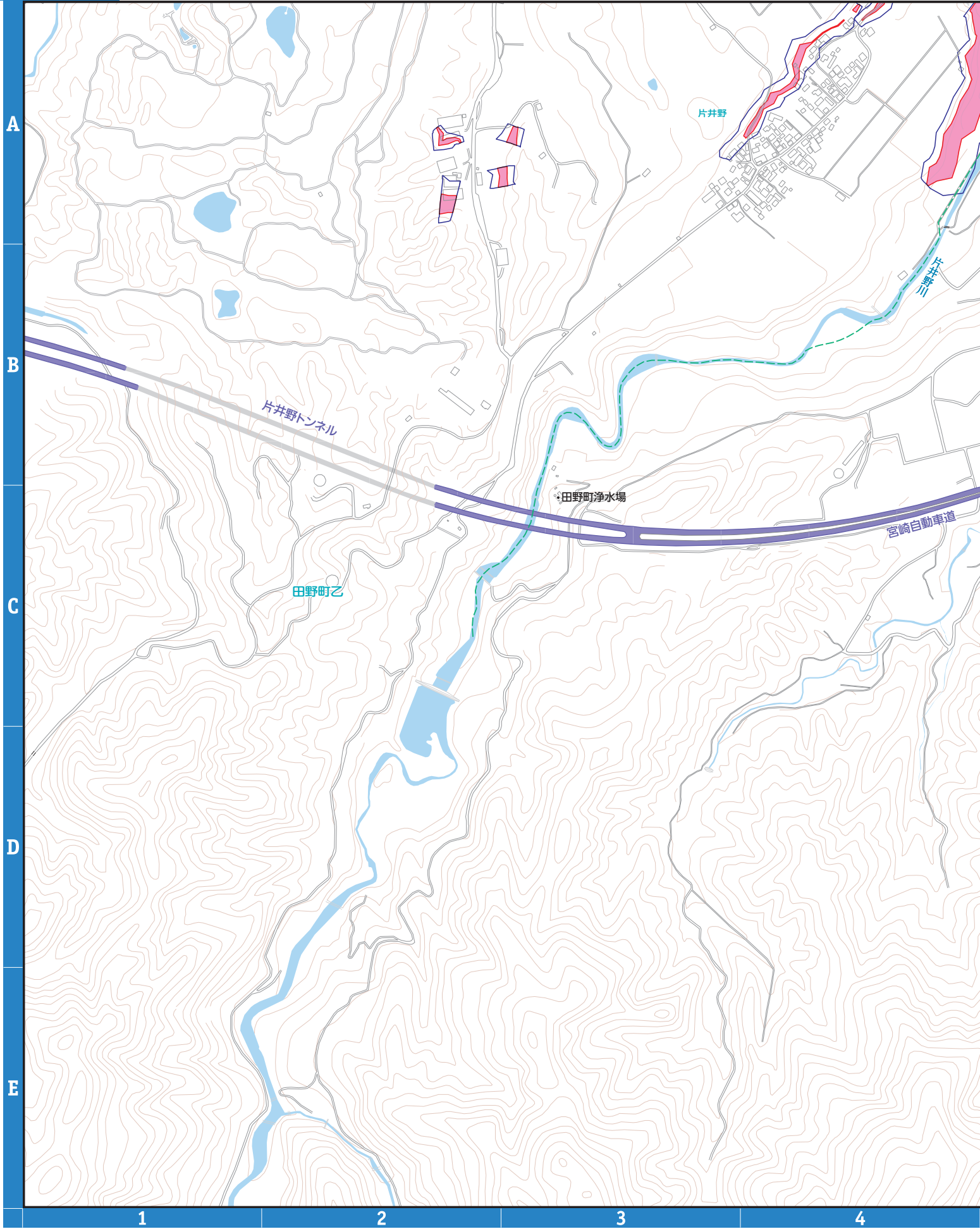
5	6
9	10
12	






0 100 200 250m
縮尺 1:10,000



10

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域	家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)			
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域		指定水位観測所		
		主要施設			5.0m~10.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)	
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域				アンダーパス
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域				
			0.5m~1.0m未満の区域						
			0.3m~0.5m未満の区域						
			0.3m未満の区域						



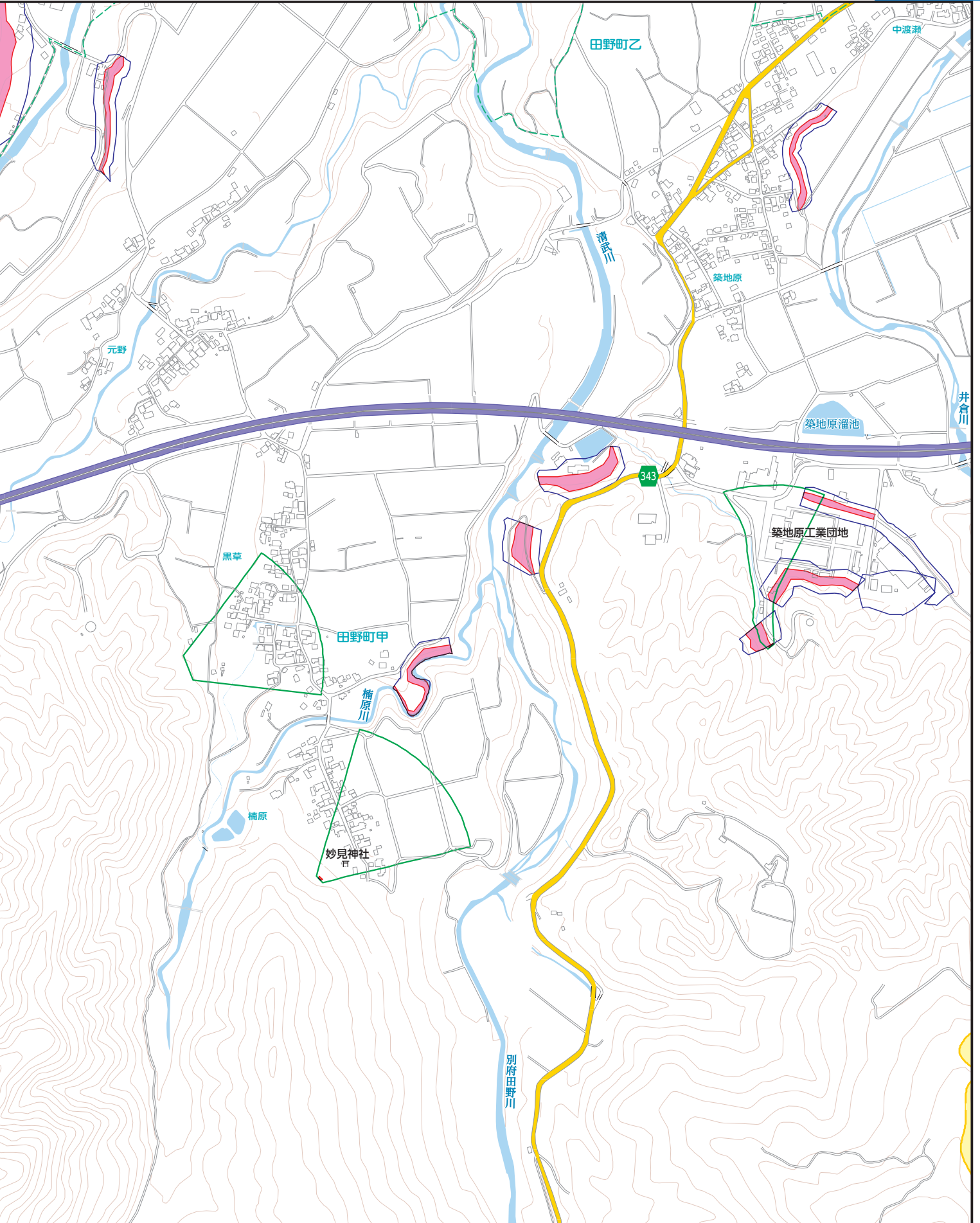
凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域			



5	6	7
9	10	11
	12	

0 100 200 250m
縮尺 1:10,000

10



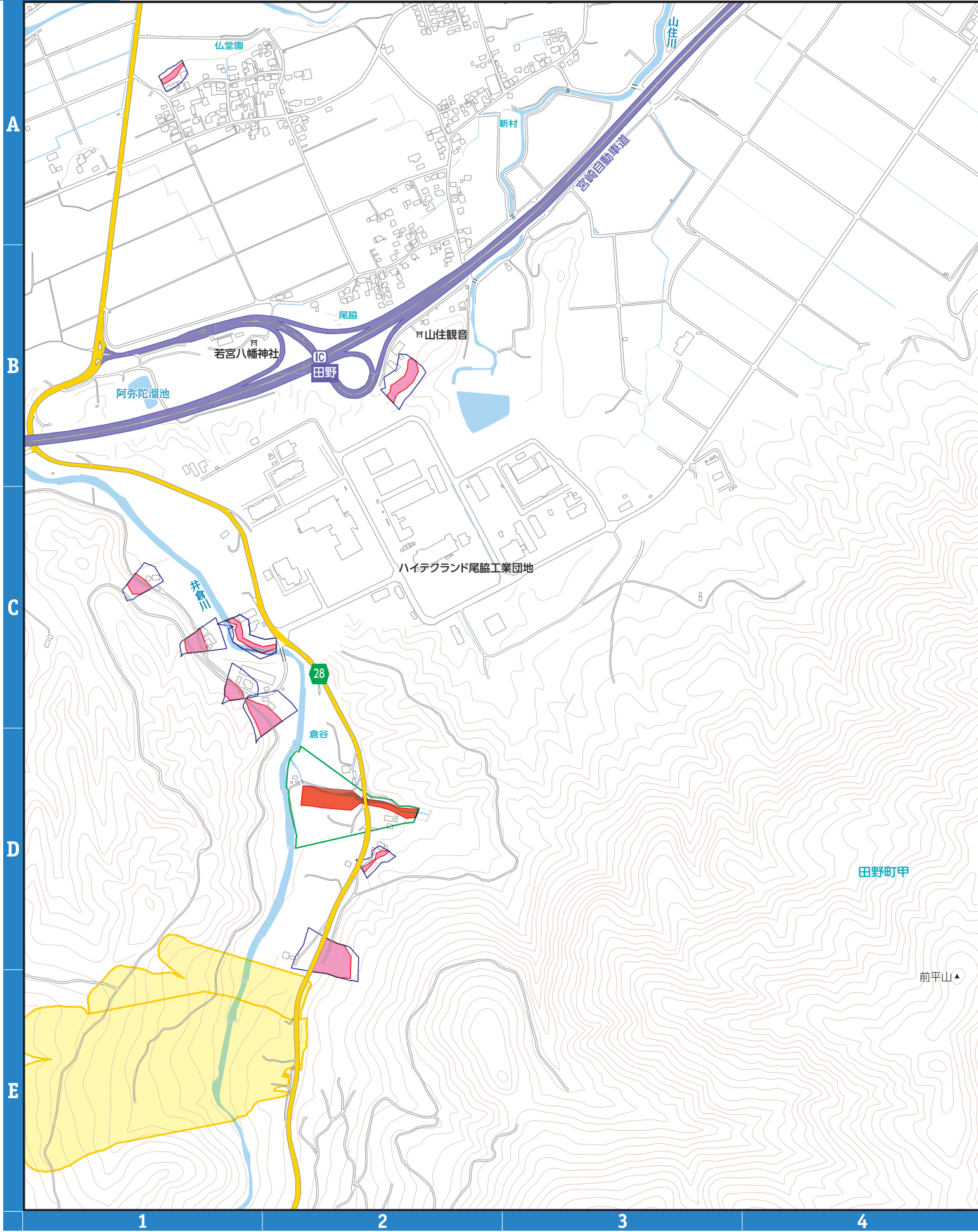
5






6

7

8

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域	家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食)			
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域		指定水位観測所		
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域			過去の浸水箇所 (台風・豪雨等)	
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域				アンダーパス
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域				
			0.5m~1.0m未満の区域						
			0.3m~0.5m未満の区域						
			0.3m未満の区域						



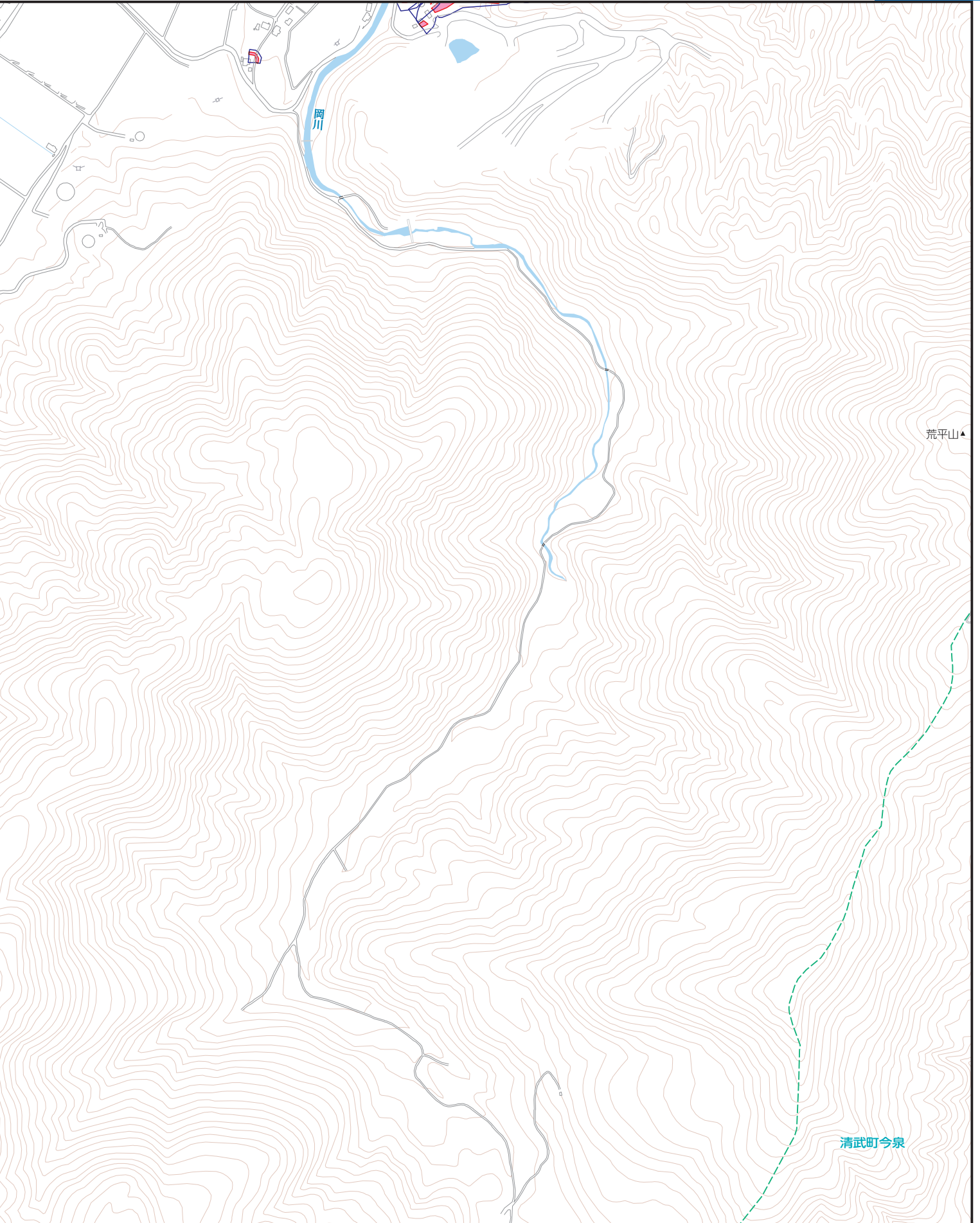
凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
		土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域		



6	7
10	11
	12

0 100 200 250m
縮尺 1:10,000

11



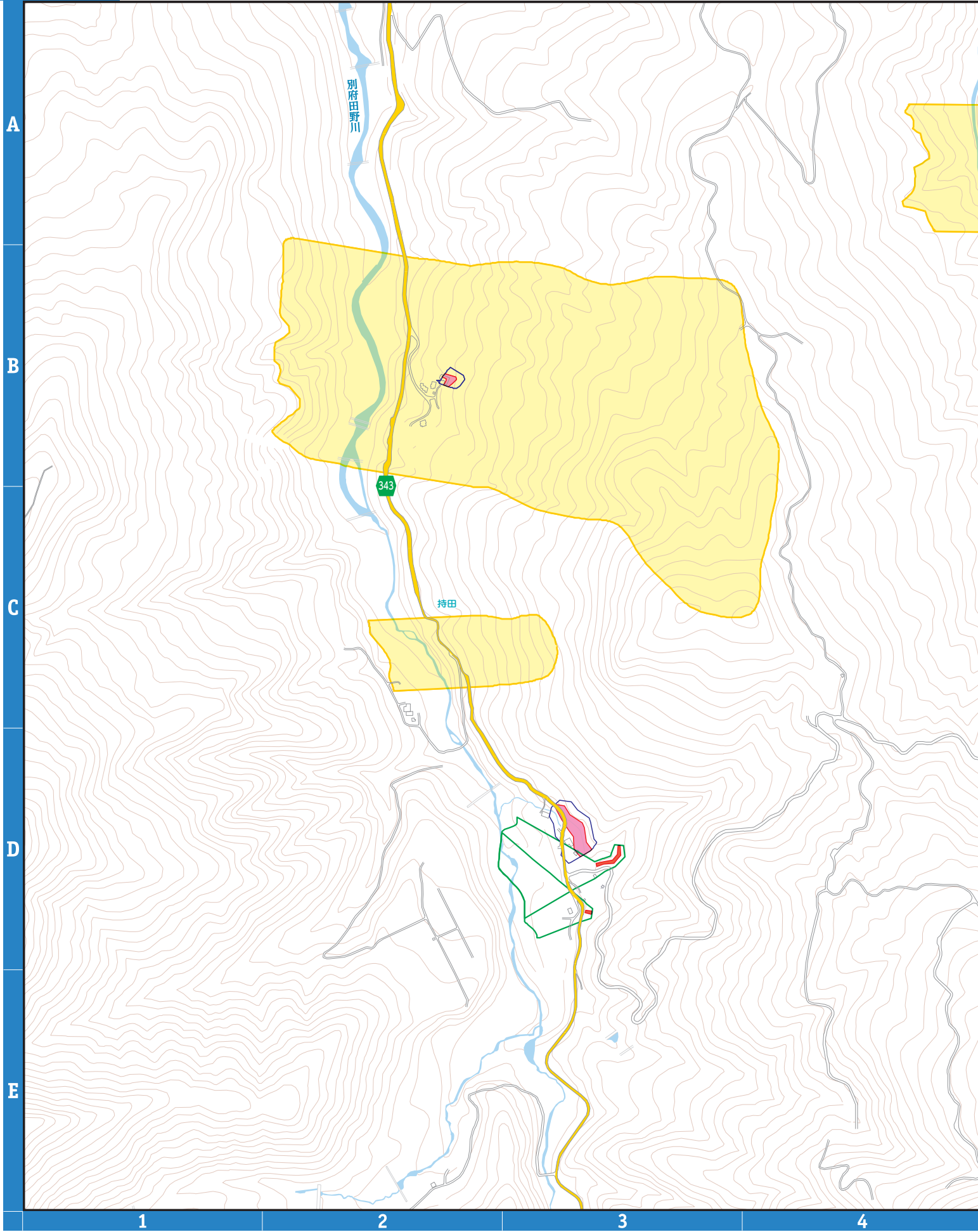
5

6

7






8

凡例		指定避難所 (洪水浸水想定区域外)	河川洪水浸水深		20.0m以上の区域	家屋倒壊等氾濫区域 (氾濫流・河岸浸食) 指定水位観測所 過去の浸水箇所 (台風・豪雨等) アンダーパス 災害危険区域
		指定避難所 (洪水浸水想定区域内)			10.0m~20.0m未満の区域	
		主要施設			5.0 m~10.0m未満の区域	
		救急告知施設 (病院)			3.0m~5.0m未満の区域	
		ライフライン			1.0m~3.0m未満の区域	
				0.5m~1.0m未満の区域		
				0.3m~0.5m未満の区域		
				0.3m未満の区域		



A
B
C
D
E

1 2 3 4

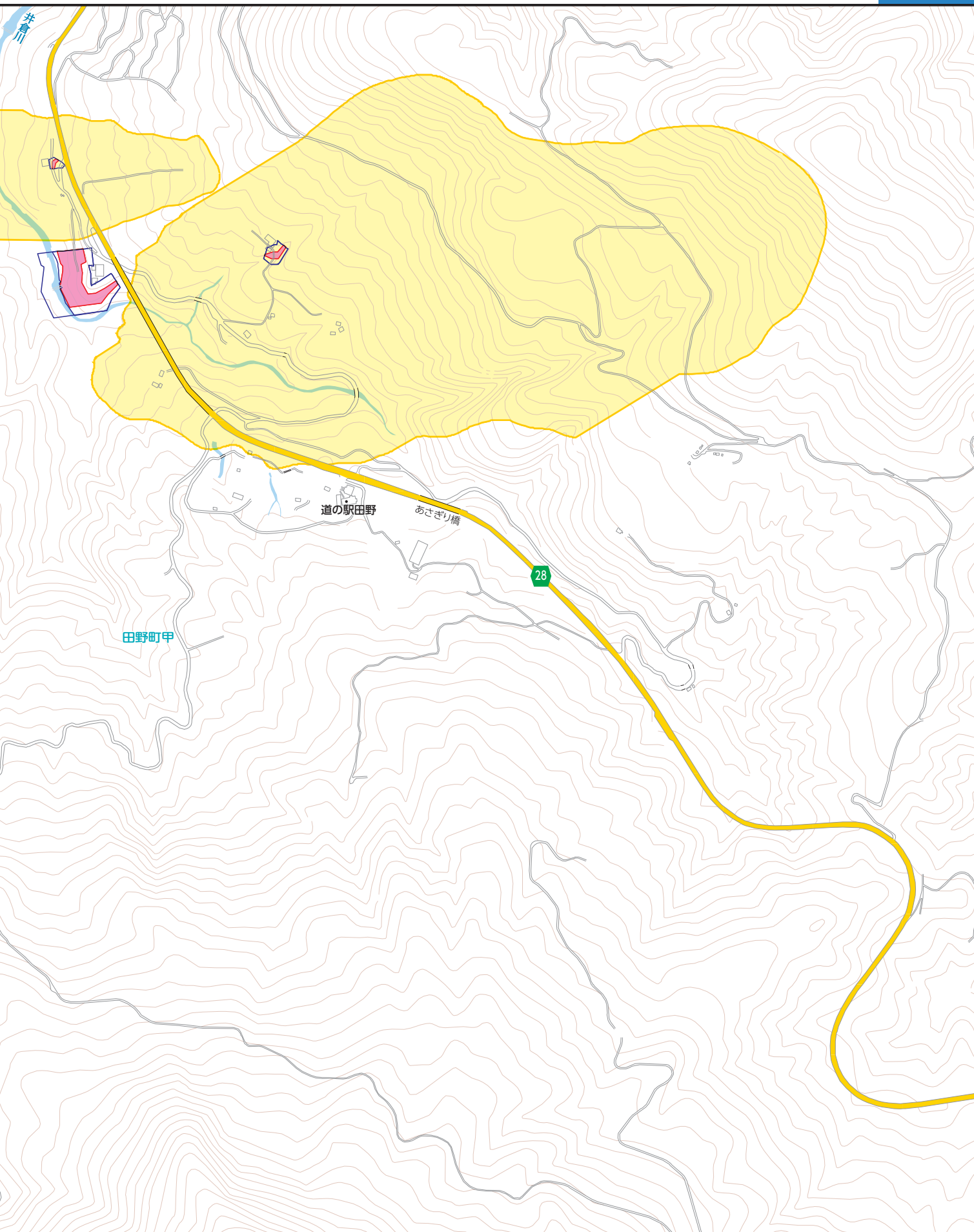
凡例	土石流		急傾斜地の崩壊		地すべり	
		土石流 警戒区域		急傾斜地 警戒区域		地すべり 警戒区域
	土石流 特別警戒区域		急傾斜地 特別警戒区域			



9	10	11
	12	

0 100 200 250m
縮尺 1:10,000

12



5

6

7

8

わが家の防災・緊急情報メモ

災害時に、救助の方や緊急時に救急隊・医療機関・市に利用してもらいたいわが家の情報です。

世帯主氏名		電話番号	
住所			
避難所			

家族構成及び緊急情報	氏名	生年月日 (年齢)	血液型	持病 アレルギー	かかりつけ 医療機関	連絡先
メモ：						

■緊急時連絡先

緊急時連絡先	氏名	間柄	連絡先	住所	メモ

宮崎市洪水ハザードマップに関する問い合わせ先

宮崎市役所 危機管理部 危機管理課

〒880-8505 宮崎県宮崎市橘通西1丁目1番1号

TEL：0985-21-1730（直通）

土砂災害



大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみ込んだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

土砂災害警戒情報とは

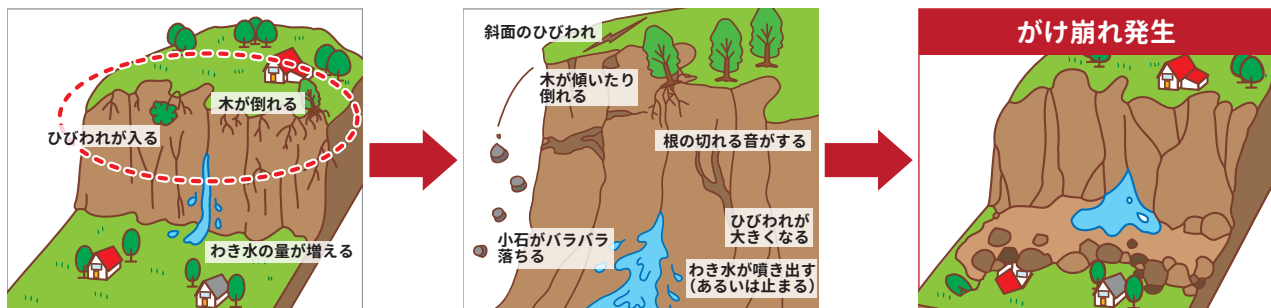
「土砂災害警戒情報」は、大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難勧告の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼び掛ける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表。
※ 国全体の防災基本方針を示す防災基本計画では「土砂災害警戒情報が発表された場合に直ちに避難勧告（警戒レベル4）等を発令すること」が基本。

土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

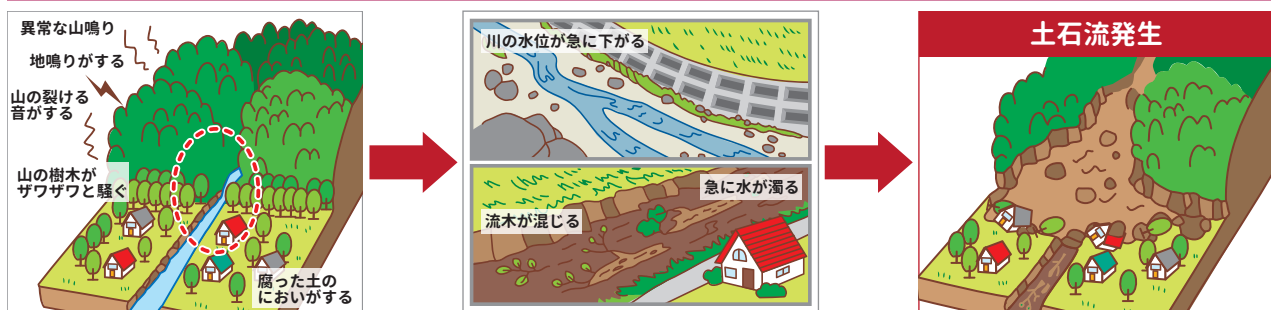
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、莫大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

